

志摩市  
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査  
結果報告書

令和2年7月

志摩市

# 目 次

I 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査概要 .....	1
3. 報告書の見方 .....	1
II 調査の結果 .....	2
1. 家族や生活状況等について .....	2
2. からだを動かすことについて .....	8
3. 食べることについて .....	14
4. 毎日の生活について .....	18
5. 地域での活動について .....	25
6. たすけあいについて .....	31
7. 健康について .....	36
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について .....	40
9. 生活機能評価に関する分析 .....	41

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

---

本調査は、「志摩市第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定にあたり、市内に在住する高齢者の日常生活や介護予防に関する状況等について明らかにし、今後の高齢者支援施策の検討と計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

### 2. 調査概要

---

調査対象者：市内在住の65歳以上の方

調査期間：令和2年3月

調査方法：郵送配布・郵送回収

回収結果：配布数3,000件、有効回収数1,817件、有効回収率60.6%

### 3. 報告書の見方

---

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## Ⅱ 調査の結果

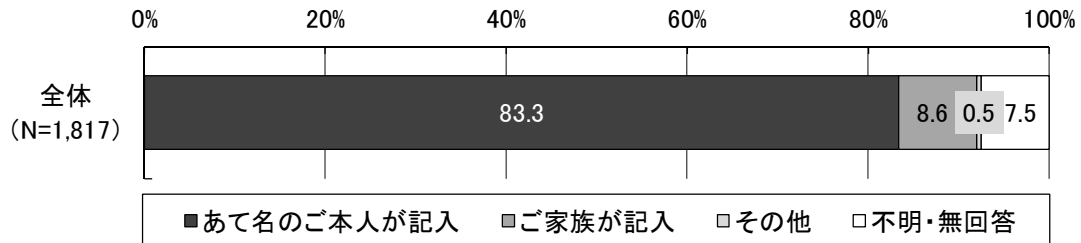
### 1. 家族や生活状況等について

---

#### ◎ 記入者

「あて名のご本人が記入」が83.3%、「ご家族が記入」が8.6%です。

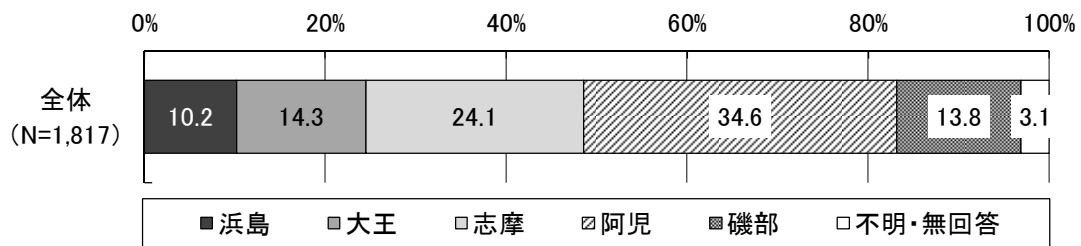
---



#### ◎ 地域

「阿児」が34.6%で最も多く、次いで「志摩」が24.1%、「大王」が14.3%となっています。

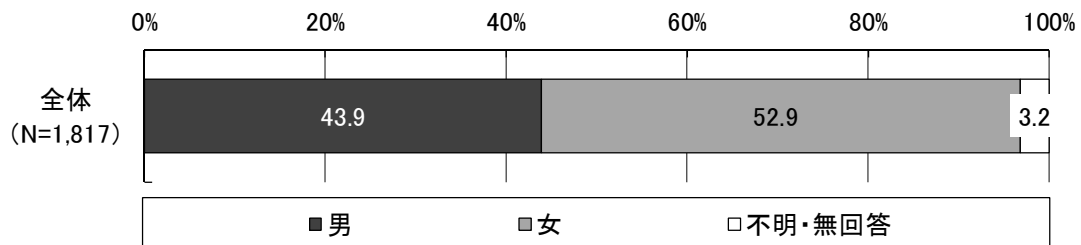
---



#### ◎ 性別

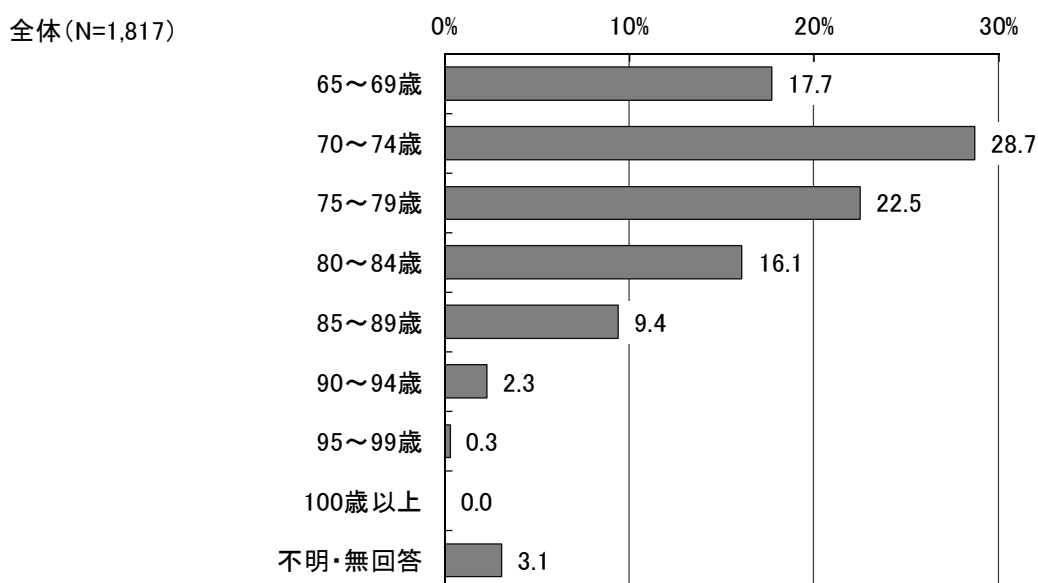
「男」が43.9%、「女」が52.9%です。

---



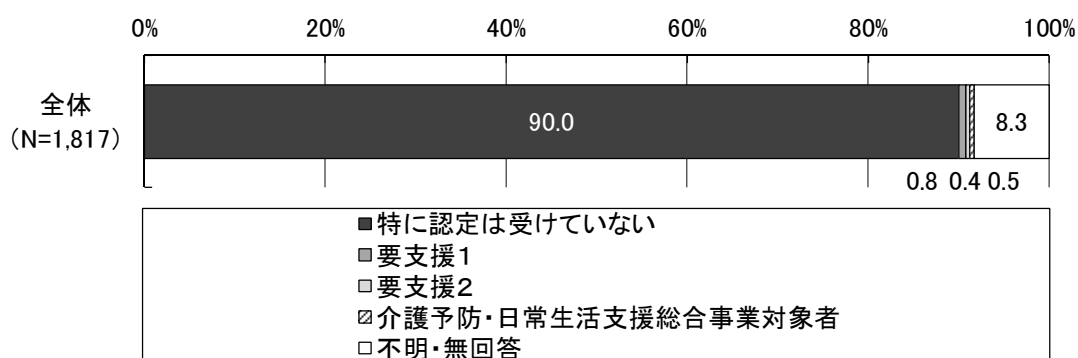
◎ 年齢

「70～74歳」が28.7%で最も多く、次いで「75～79歳」が22.5%、「65～69歳」が17.7%となっています。



◎ 要支援認定等の状況

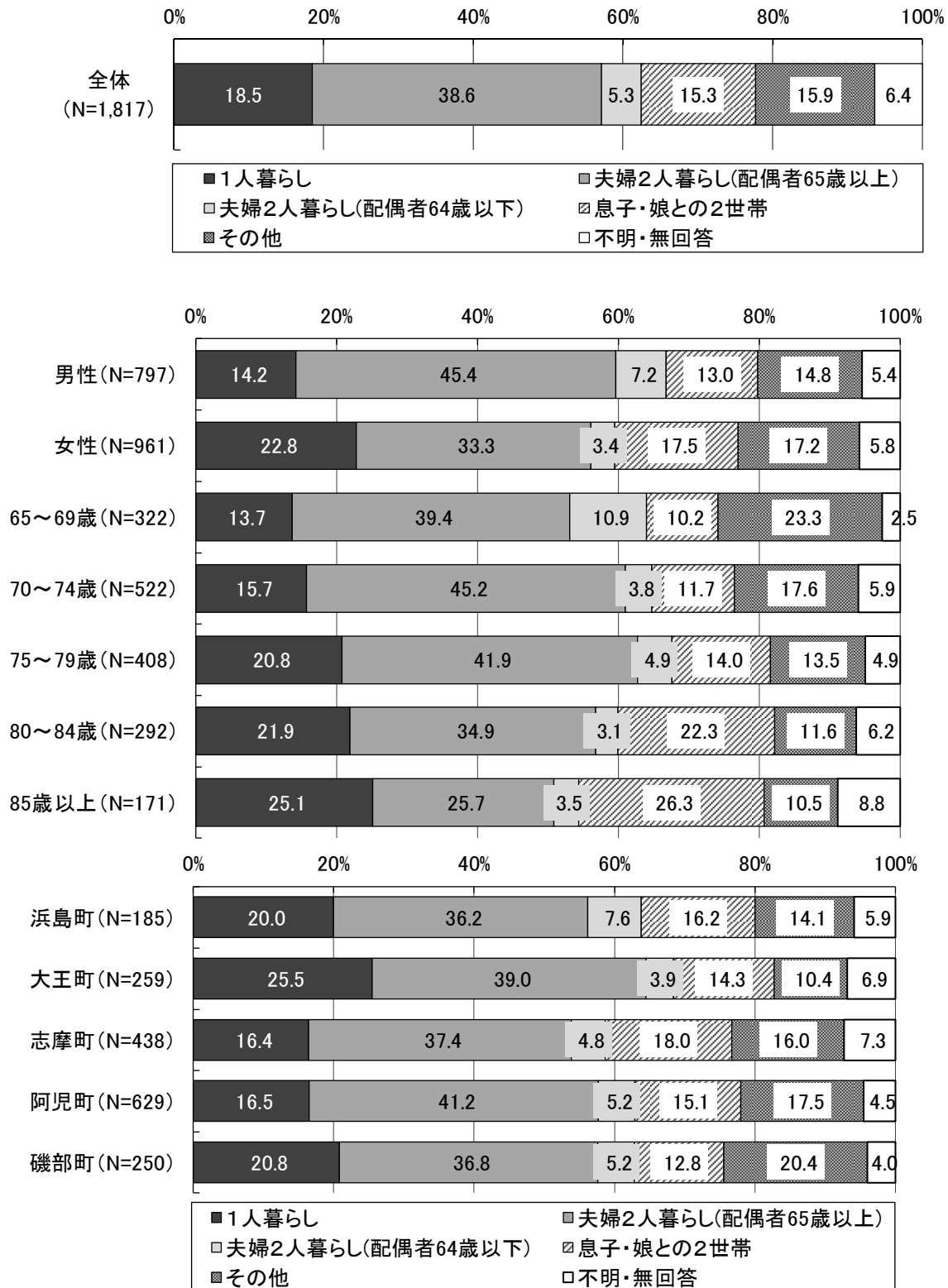
「特に認定は受けていない」が90.0%、「要支援1」が0.8%、「要支援2」が0.4%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が0.5%です。



## (1) 家族構成をお教えてください

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が38.6%で最も多く、夫婦のみ家族は4割を超えています。次いで、「1人暮らし」が18.5%、「息子・娘との2世帯」が15.3%となっています。

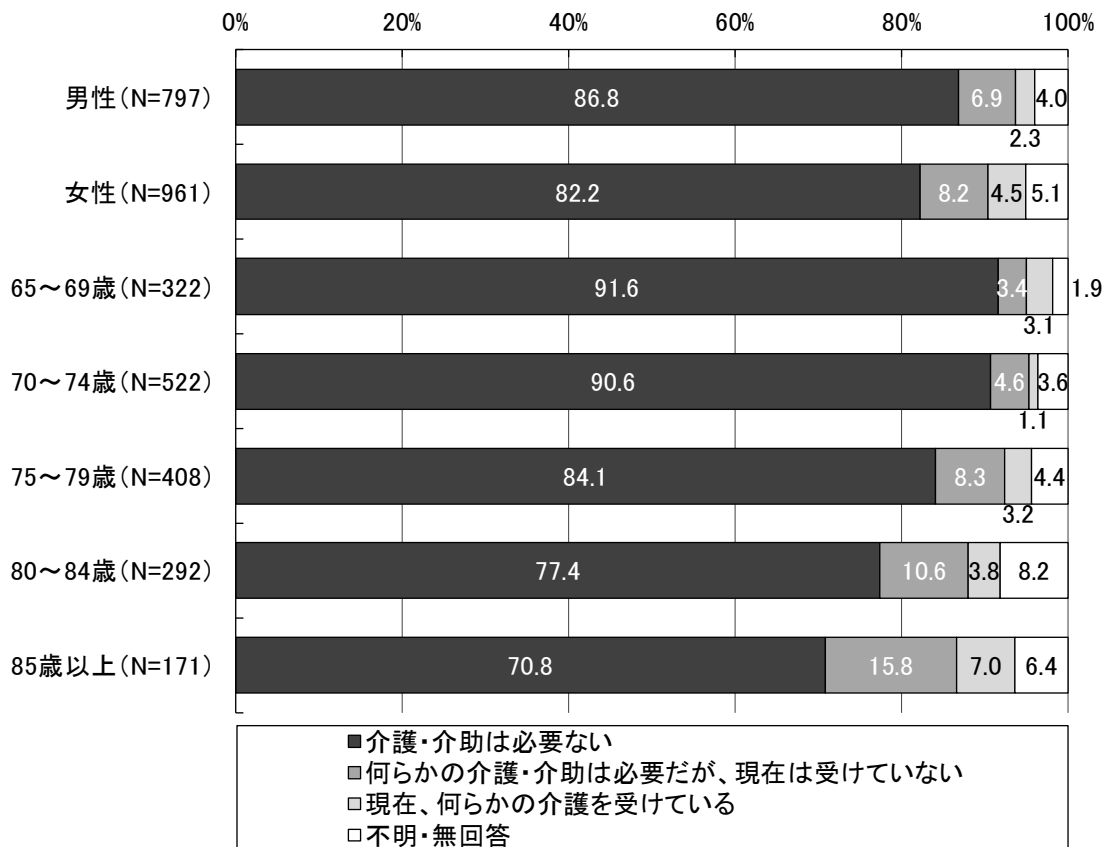
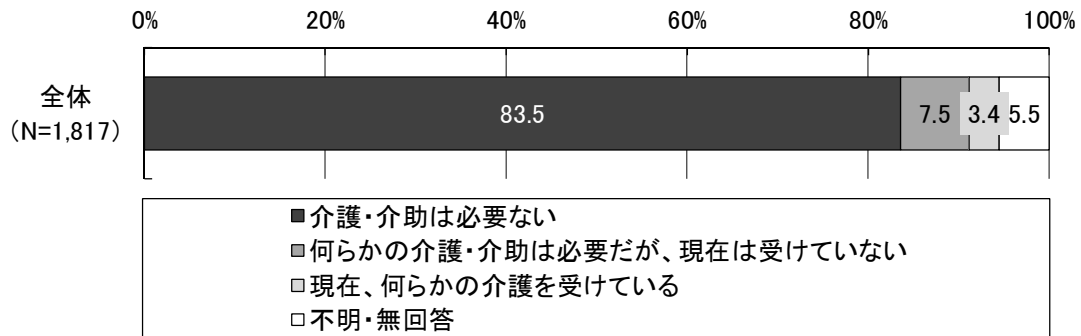
男女別では女性の方が、「1人暮らし」が多くなっています。年齢別では、年齢が上がるほど「夫婦2人暮らし」が少なくなり、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」、「その他」が多くなっています。



## (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が83.5%、「何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない」が9.4%となっています。「現在、何らかの介護を受けている」という回答は2.7%となっています。

年齢が上がるほど「介護・介助は必要ない」が減少し、「何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない」が多くなっています。

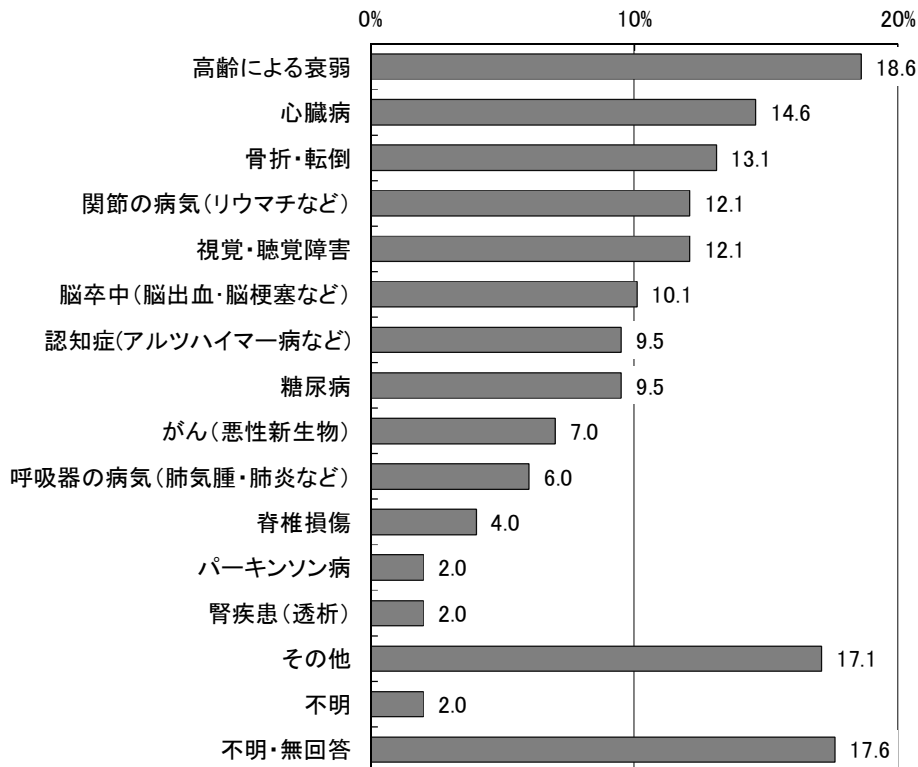


【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

(2) ① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

「高齢による衰弱」が18.6%で最も多く、次いで「心臓病」が14.6%、「骨折・転倒」が13.1%となっています。

全体(N=199)

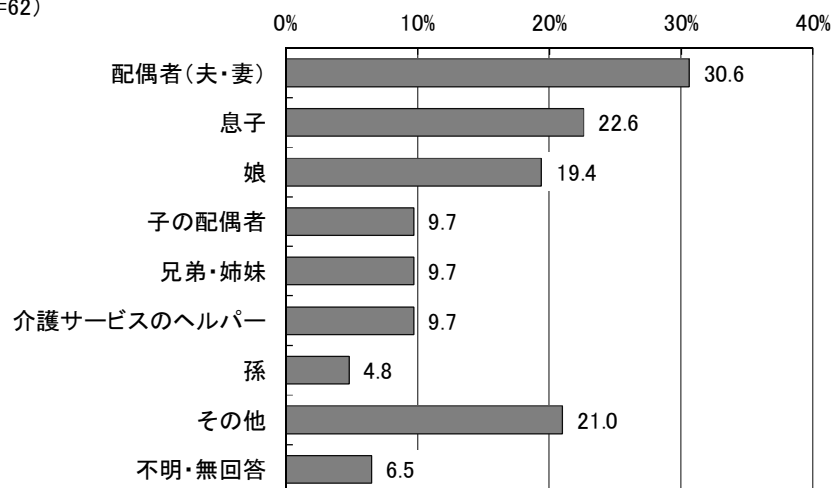


【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

(2) ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が30.6%で最も多く、次いで「息子」が22.6%、「娘」が19.4%となっています。

全体(N=62)

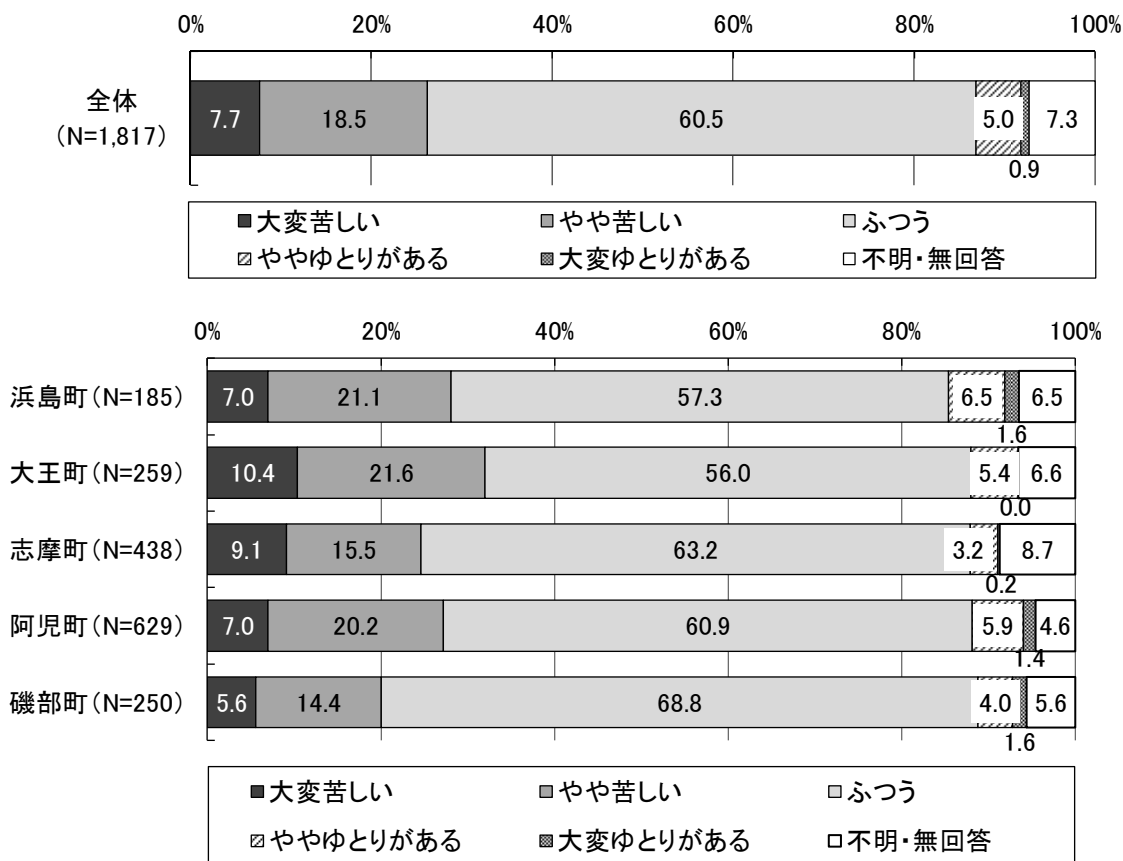




### (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

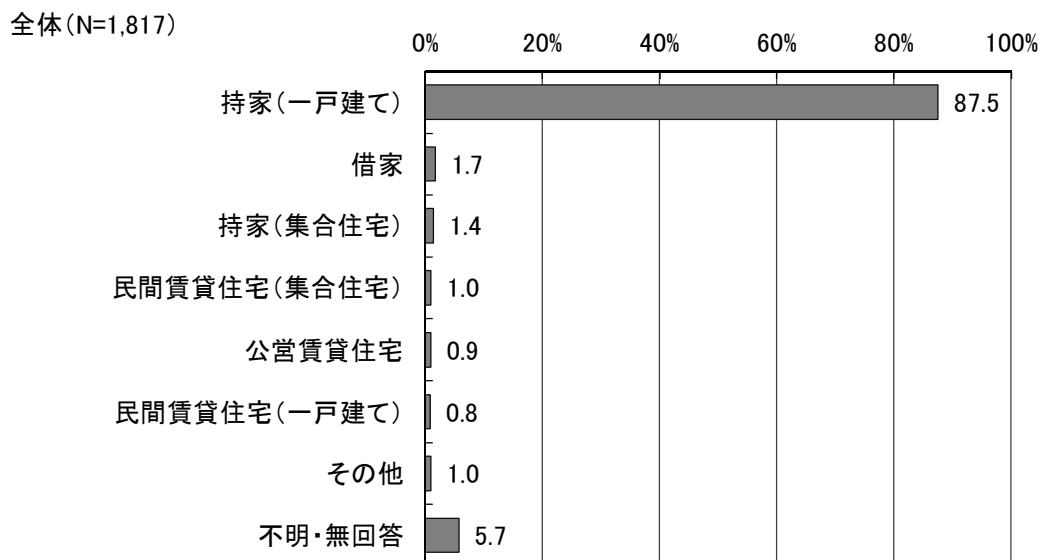
経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」という回答が60.5%で最も多くなっています。「大変苦しい」が7.7%、「やや苦しい」と合わせると全体の2割半ばが「苦しい」と回答しています。「ゆとりがある」という回答は6%程度にとどまっています。

地域別では、大王町でやや「苦しい」という回答が多くなっています。



### (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

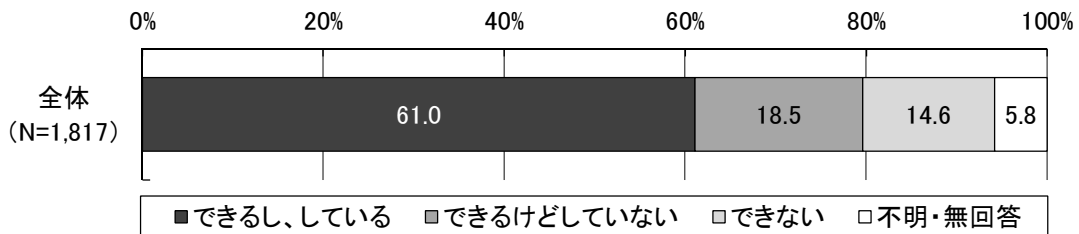
「持家（一戸建て）」が87.5%で最も多く、次いで「借家」が1.7%、「持家（集合住宅）」が1.4%となっています。



## 2. からだを動かすことについて

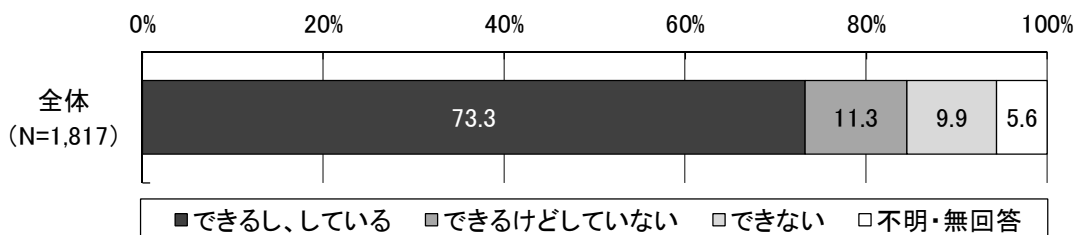
### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」という回答が6割を超えている一方で、「できない」という回答が14.6%あります。



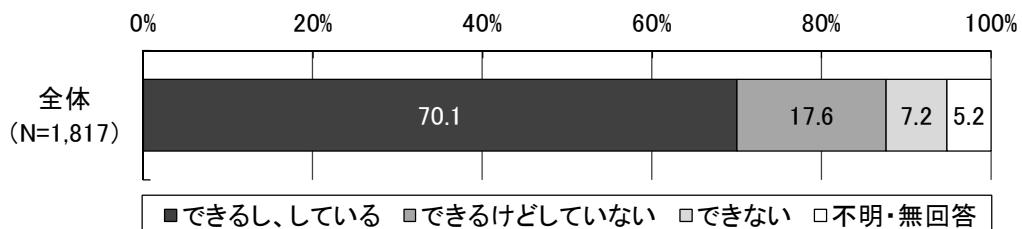
### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」という回答が7割を超えている一方で、「できない」という回答が9.9%あります。



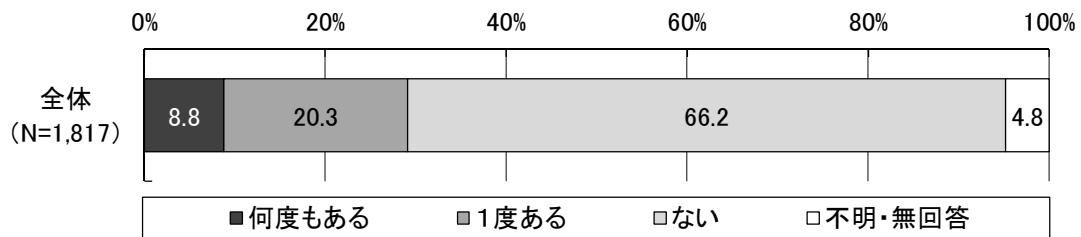
### (3) 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」という回答が7割を超えている一方で、「できない」という回答が7.2%あります。



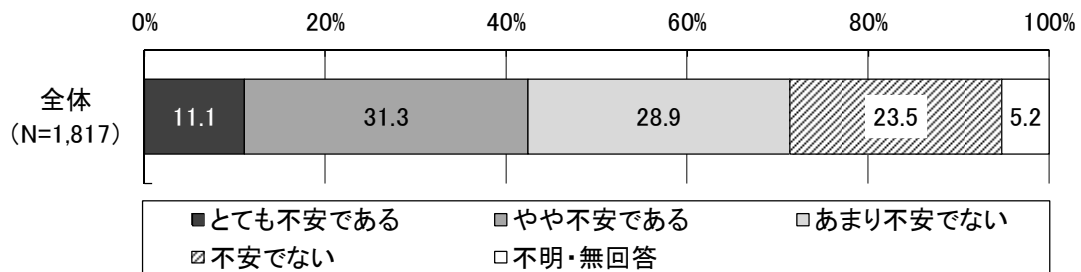
#### (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間に転倒した経験については、「何度もある」が約1割、「1度ある」が約2割です。



#### (5) 転倒に対する不安は大きいですか

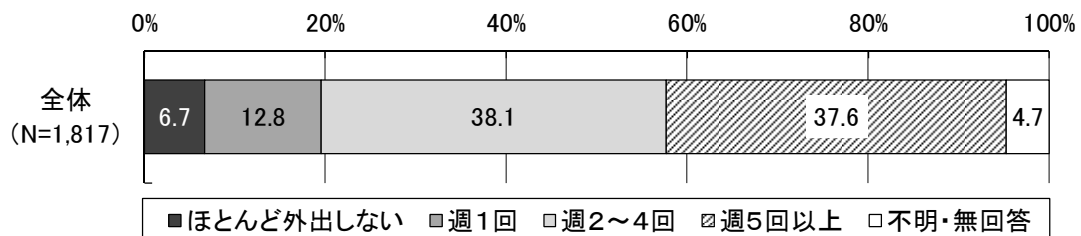
転倒に対する不安を感じている人は4割を超えています。

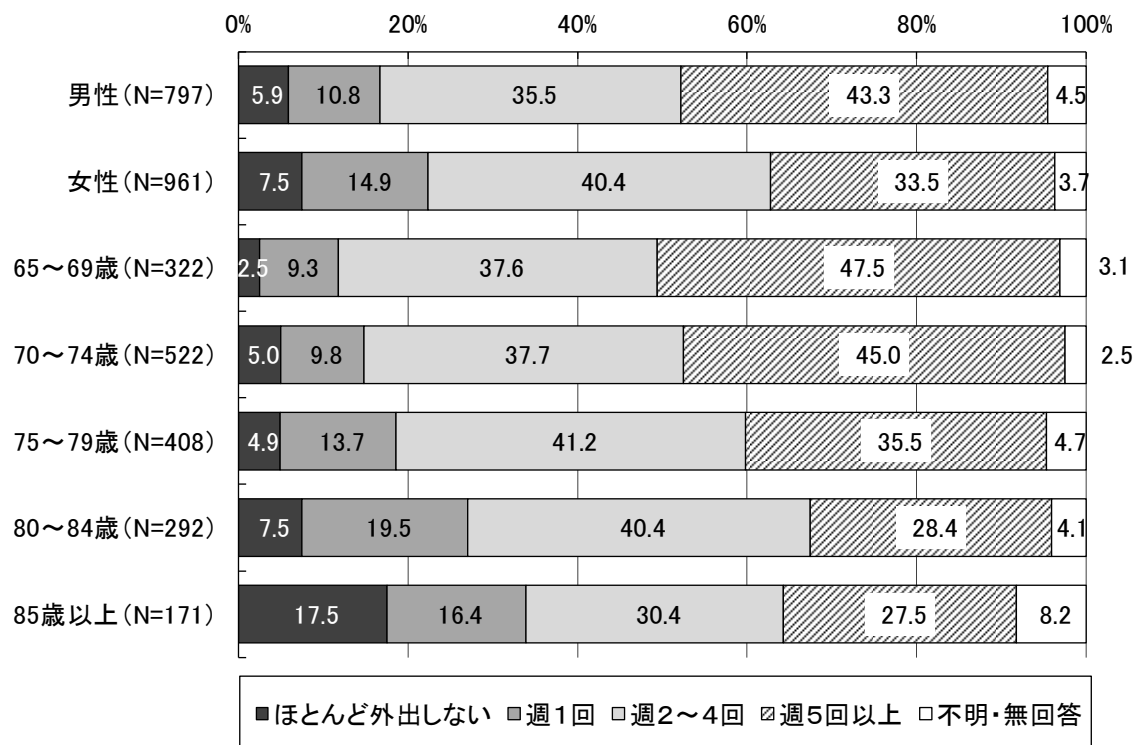


#### (6) 週に1回以上は外出していますか

「週2~4回」または「週5回以上」の回答が7割半ばを超えています。一方で「ほとんど外出しない」が6.7%、「週1回」が12.8%となっています。

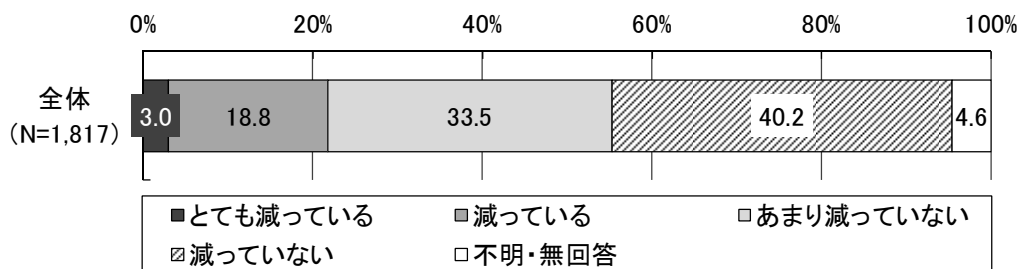
女性より男性の方が外出の頻度が高く、年齢が上がるほど外出の頻度は下がっています。





### (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

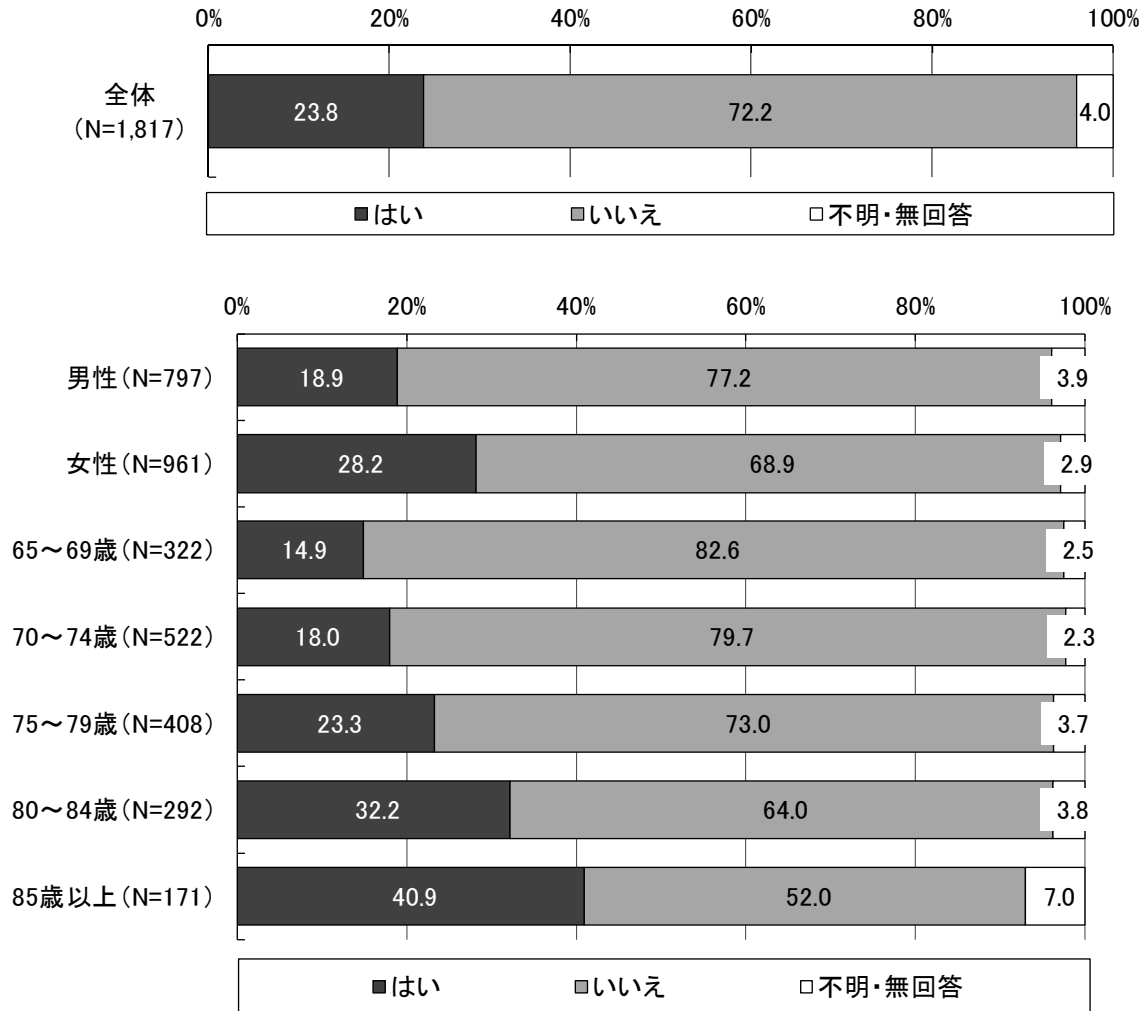
7割以上が「あまり減っていない」または「減っていない」と回答しています。一方で3.0%が「とても減っている」と回答しており、「減っている」と合わせると約2割の人が、昨年と比べて外出の回数が減っていると回答しています。



## (8) 外出を控えていますか

外出を控えている人は全体の約2割です。

男性より女性の方が外出を控えている人が多く、年齢が上がるほど外出を控えている人が増加します。



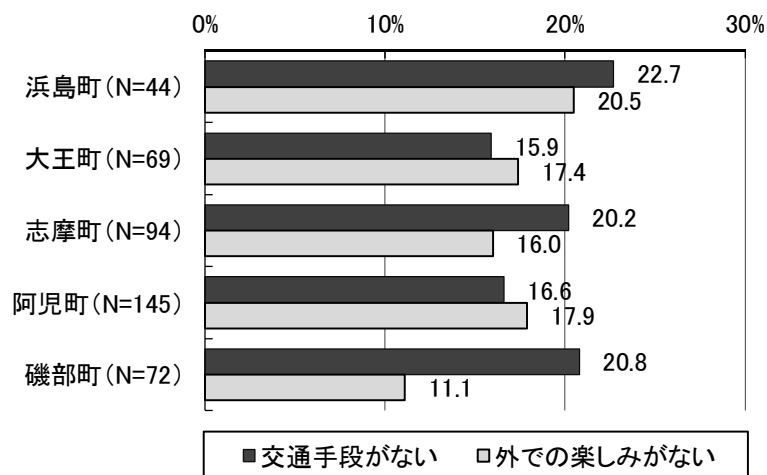
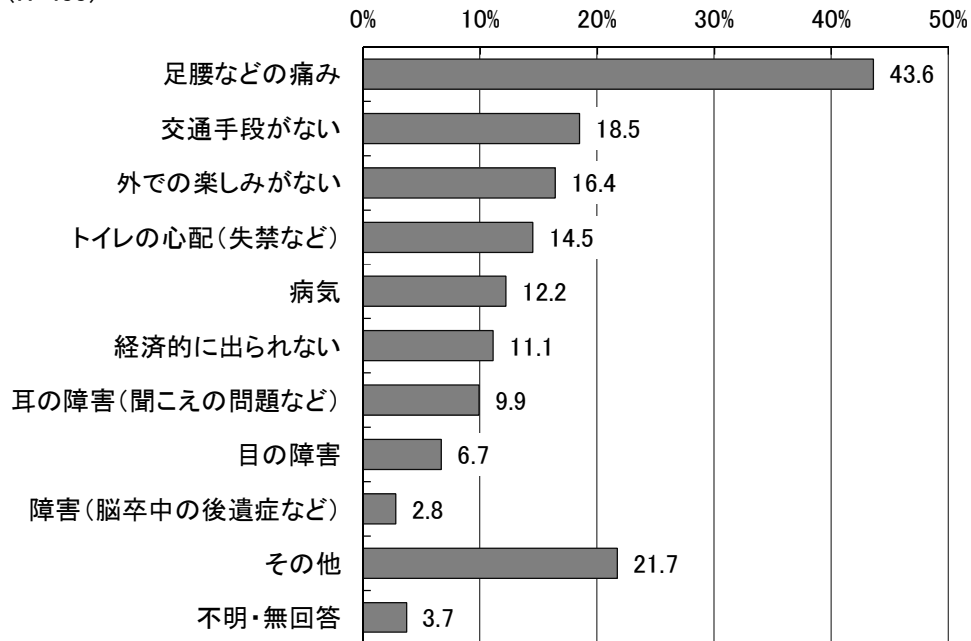
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

外出を控えている人のその理由をみると、「足腰などの痛み」が43.6%で特に多くなっています。次いで、「交通手段がない」が18.5%、「外での楽しみがない」が16.4%となっています。

地域の環境に起因する要因として、「交通手段がない」、「外での楽しみがない」を地域別にみると、「交通手段がない」は浜島町、志摩町、磯部町で、「外での楽しみがない」は浜島町、大王町、阿児町で多くなっています。

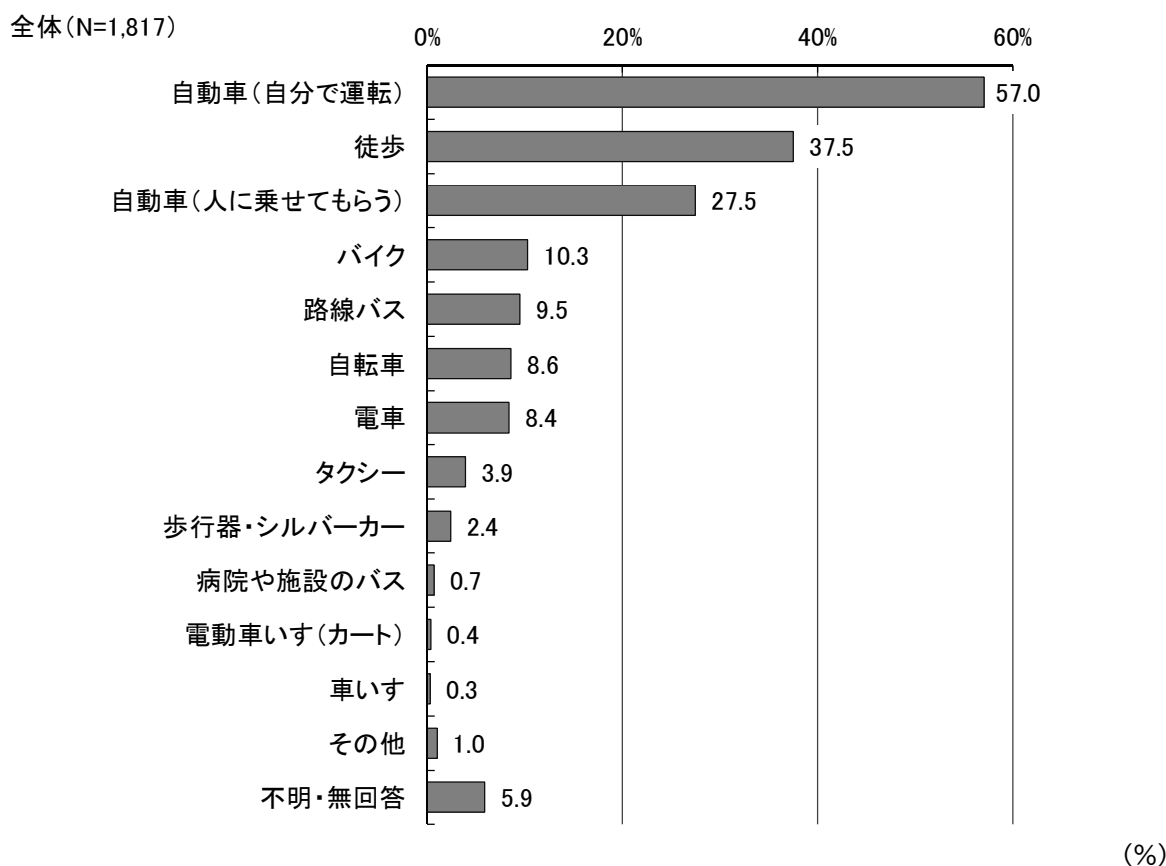
全体(N=433)



### (9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

外出する際の移動手段としては、「自動車（自分で運転）」が57.0%で最も多く、次いで「徒歩」が37.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」が27.5%となっています。

男性女性ともに「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。年齢が上がるにつれ、「自動車（自分で運転）」、「電車」が減少し、「自動車（人に乗せてもらう）」、「路線バス」、「タクシー」が増加します。大王町では「路線バス」、志摩町では「バイク」、阿児町、磯部町では「電車」の利用が、他の地域より多くなっています。

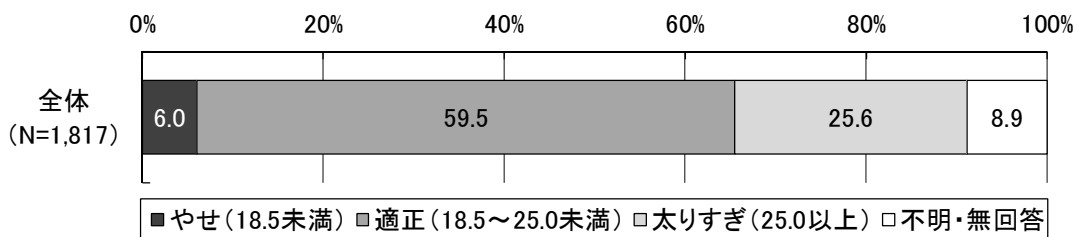
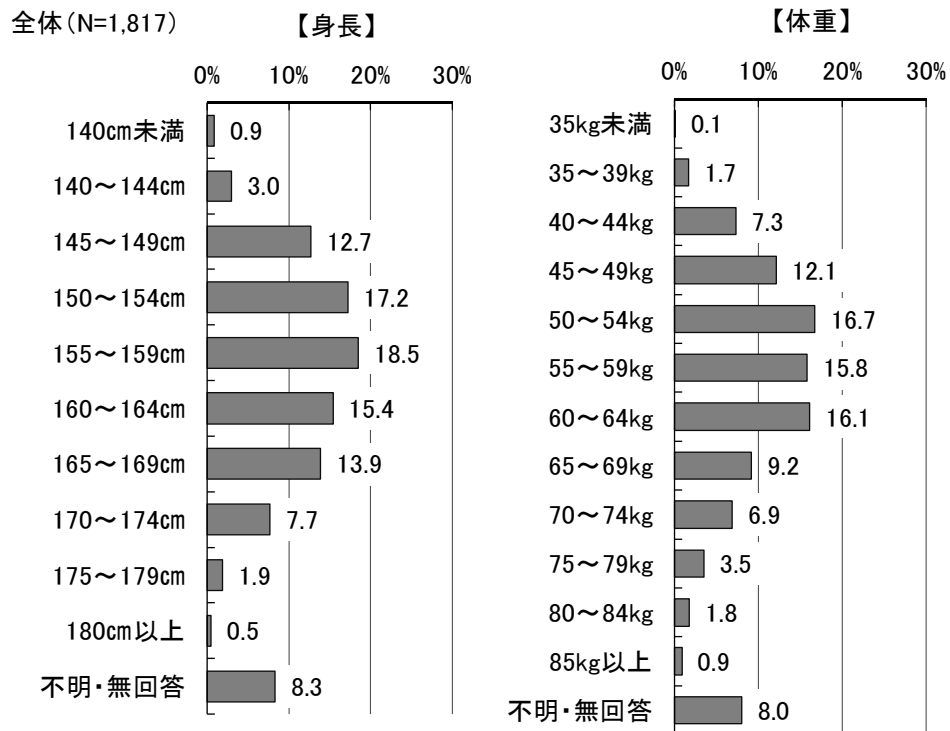


	N	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車 (人に乗せ てもらう)	電車	路線バス	タクシー
男性	797	35.0	9.2	9.9	75.4	14.3	7.2	6.4	2.1
女性	961	40.7	8.6	11.2	42.2	38.9	9.7	12.2	5.4
65～69歳	322	35.4	7.5	11.8	79.5	19.3	10.2	4.7	1.6
70～74歳	522	37.2	8.2	10.5	73.0	19.7	9.2	7.1	1.9
75～79歳	408	40.9	10.0	12.5	50.7	29.7	10.0	12.3	5.6
80～84歳	292	38.4	10.6	12.7	39.4	34.9	5.5	13.7	5.1
85歳以上	171	40.4	6.4	2.9	26.9	45.6	7.0	14.0	8.8
浜島町	185	39.5	15.1	12.4	60.0	25.9	4.9	10.8	1.6
大王町	259	38.6	5.8	8.9	52.5	29.0	6.2	15.4	5.8
志摩町	438	40.4	8.2	22.1	48.9	28.1	5.3	11.0	2.1
阿児町	629	37.7	7.8	4.9	63.9	25.8	9.9	6.7	4.8
磯部町	250	34.4	11.6	5.2	58.0	32.8	16.4	7.6	4.8

### 3. 食べることについて

#### (1) 身長・体重・BMI 指数

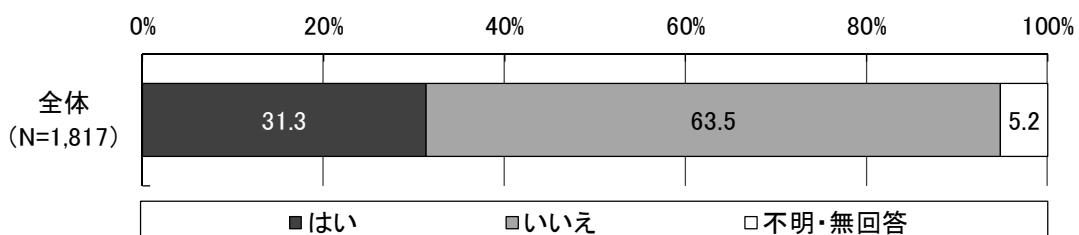
アンケートで記入された身長・体重から肥満度の判断基準となる BMI 指数を算出しました。BMI 指数が 18.5 未満の「やせ」が 6.0%、25.0 以上の「太りすぎ」が 25.6%となっています。



※BMI 指数は次の式で算出されます。BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m)<sup>2</sup>

#### (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

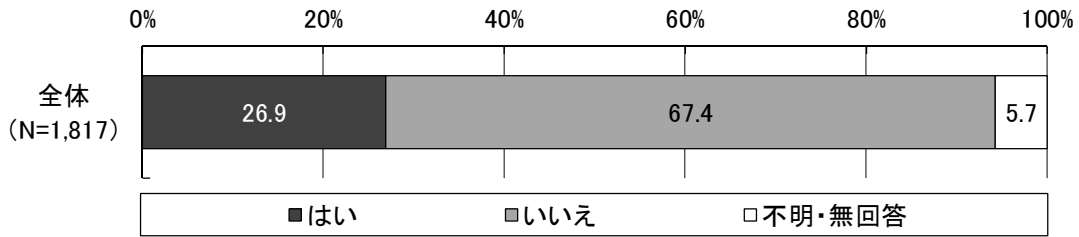
半年前に比べて固いものが食べにくくなった人は 31.3%となっています。





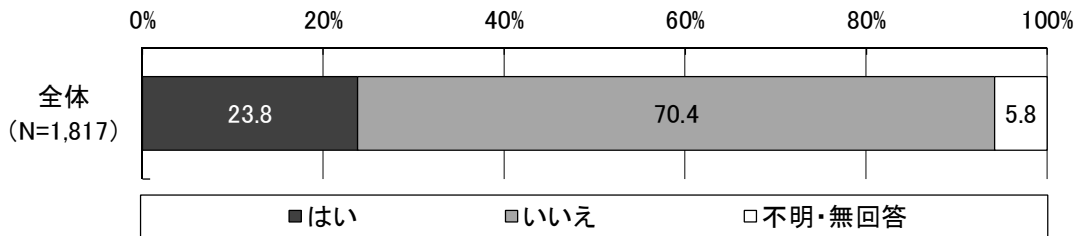
### (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがある人は26.9%となっています。



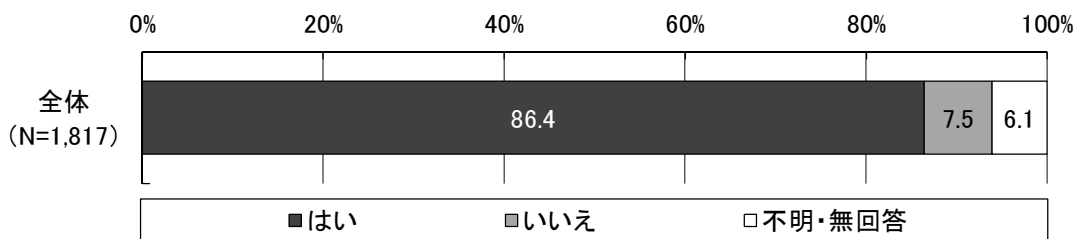
### (4) 口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になる人は23.8%となっています。



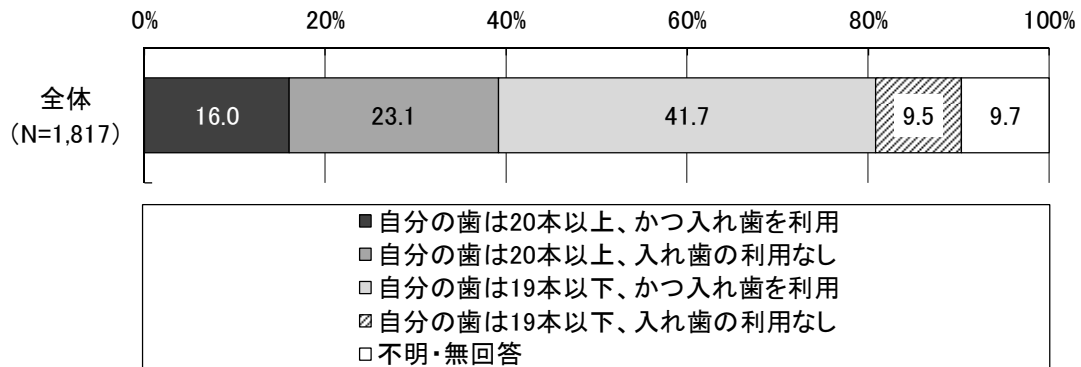
### (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している人は86.4%となっています。



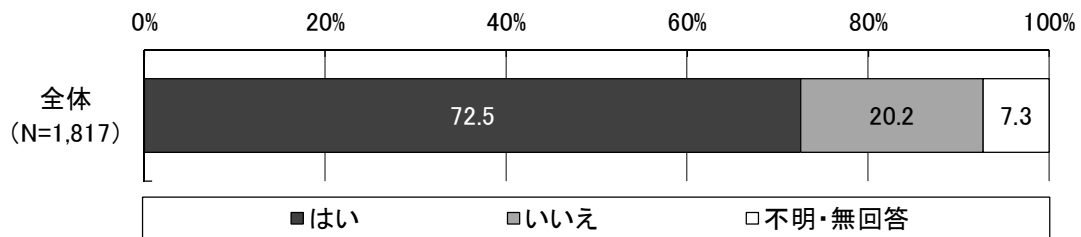
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」という回答が41.7%で最も多くなっています。入れ歯を利用している人は全体の57.7%、利用していない人は32.6%です。



(6) ① 噛み合わせは良いですか

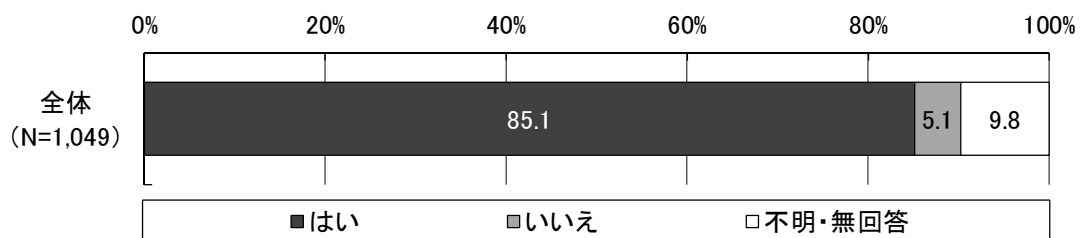
噛み合わせが良い人は72.5%となっています。



【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

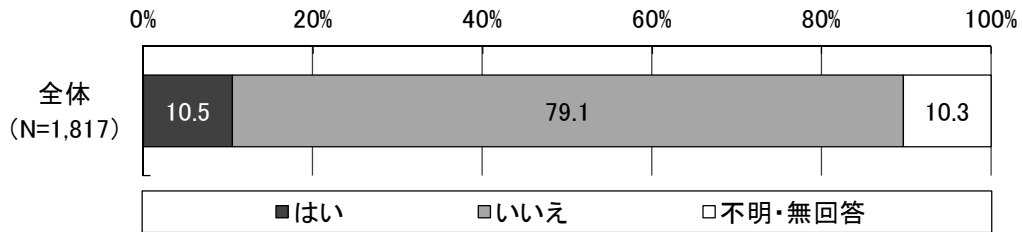
(6) ② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

毎日入れ歯の手入れをしている人は85.1%となっています。



### (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

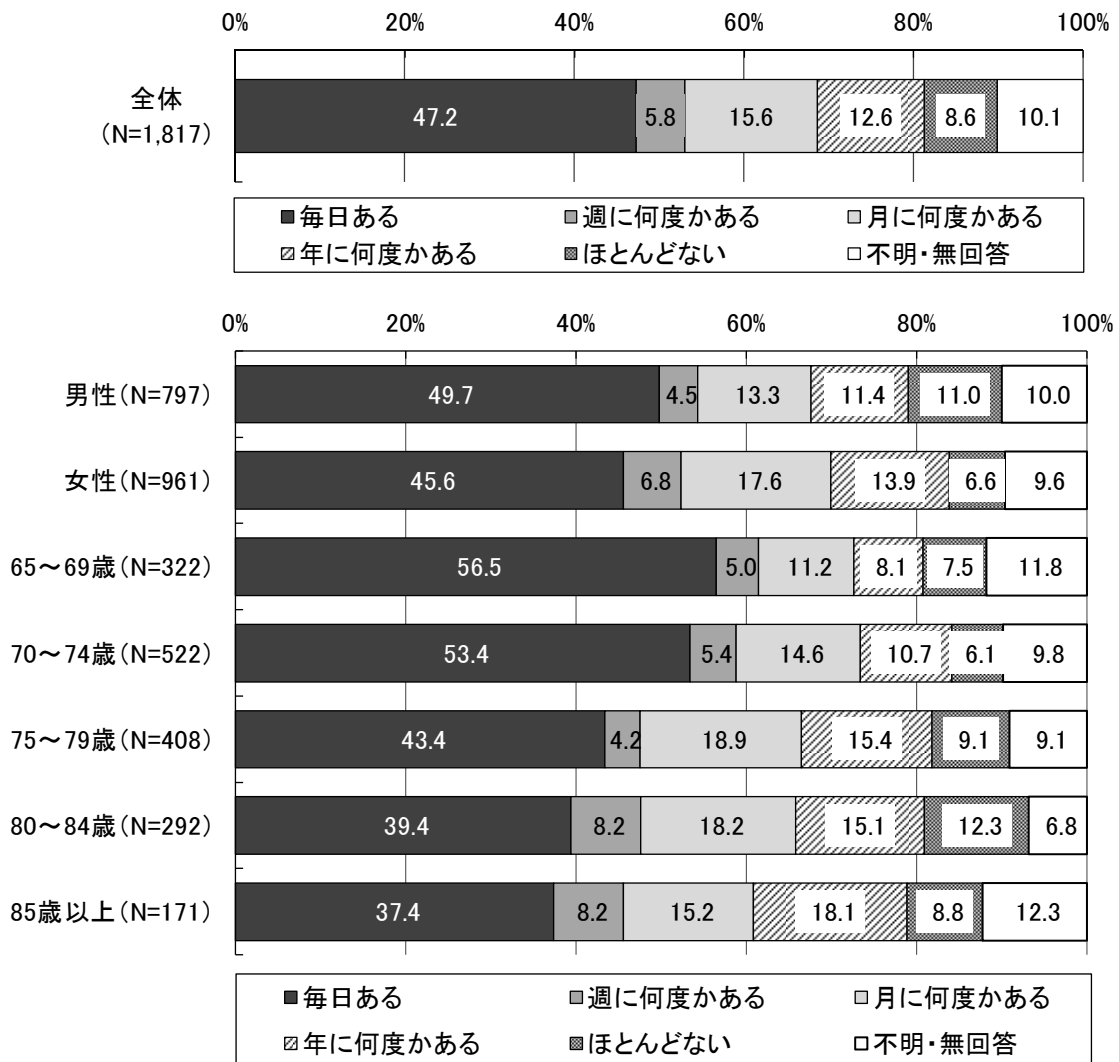
6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人は10.5%となっています。



### (8) どなたかと食事をとる機会がありますか

誰かと食事をとる機会については、「毎日ある」が47.2%となっているのに対し、「ほとんどない」が8.6%となっており、「年に何度かある」と合わせると、全体の約2割程度は、普段誰かと食事をとる機会があまりないことがうかがえます。

年齢が上がるほど、「年に何度かある」という回答が増加しています。



## 4. 毎日の生活について

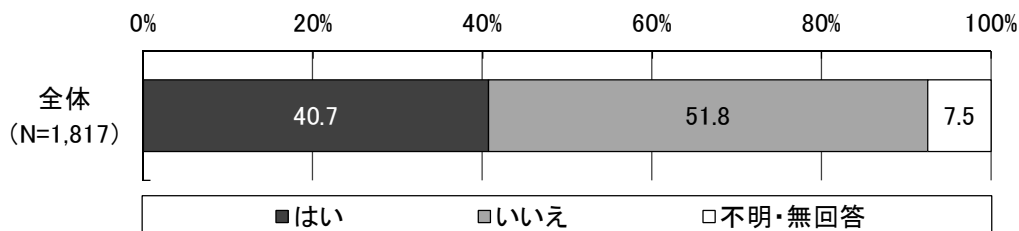
---

### (1) 物忘れが多いと感じますか

---

物忘れが多いと感じている人は40.7%となっています。

---

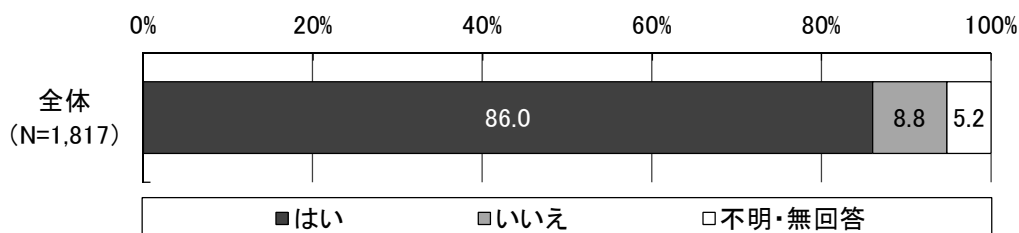


### (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

---

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている人は8割を超えています。

---

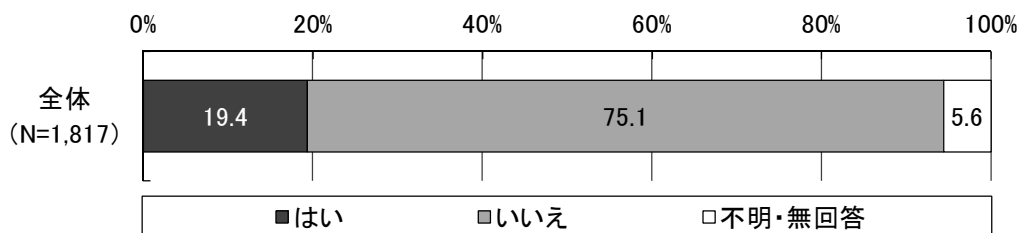


### (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

---

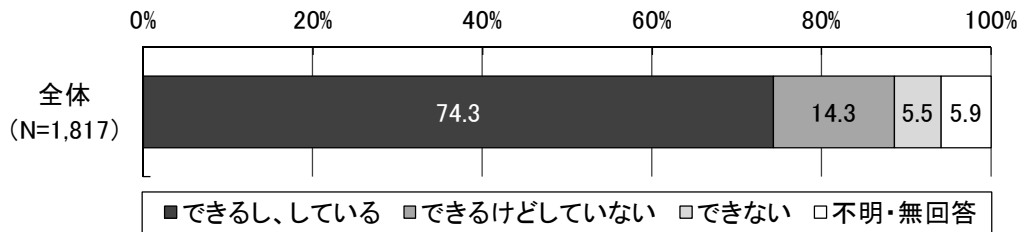
今日が何月何日かわからない時がある人は19.4%となっています。

---



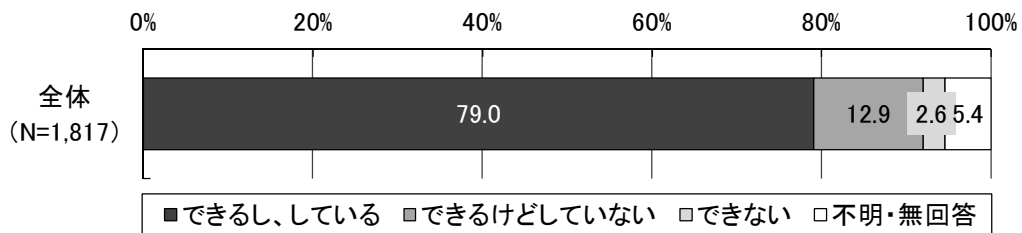
#### (4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車を使って1人で外出することについては、「できるし、している」が74.3%、「できるけどしていない」が14.3%で、「できない」は5.5%となっています。



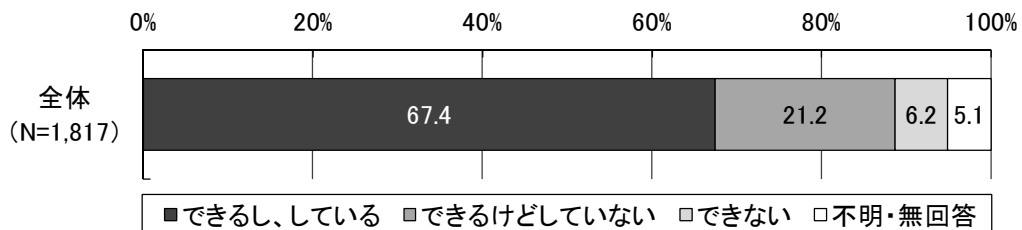
#### (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をする事については、「できるし、している」が79.0%、「できるけどしていない」が12.9%で、「できない」は2.6%となっています。



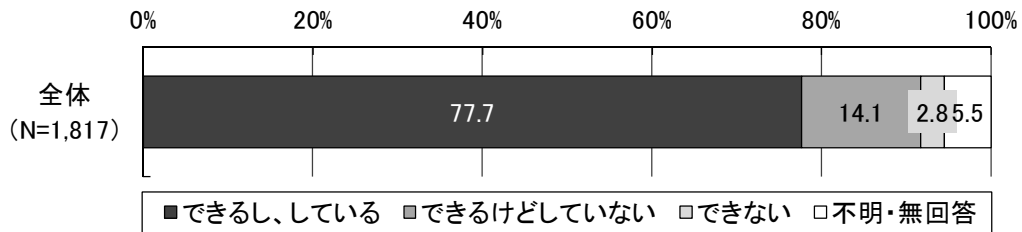
#### (6) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をする事については、「できるし、している」が67.4%、「できるけどしていない」が21.2%で、「できない」は6.2%となっています。



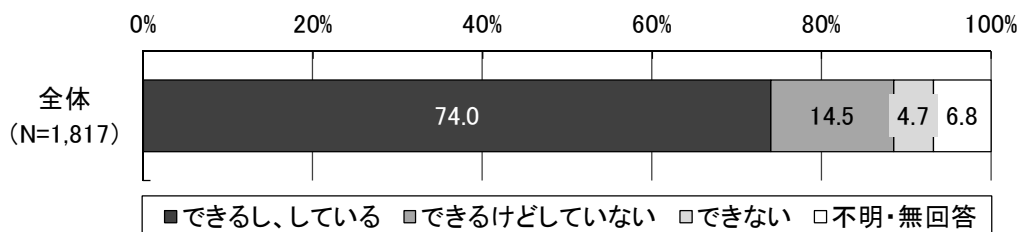
### (7) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをすることについては、「できるし、している」が77.7%、「できるけどしていない」が14.1%で、「できない」は2.8%となっています。



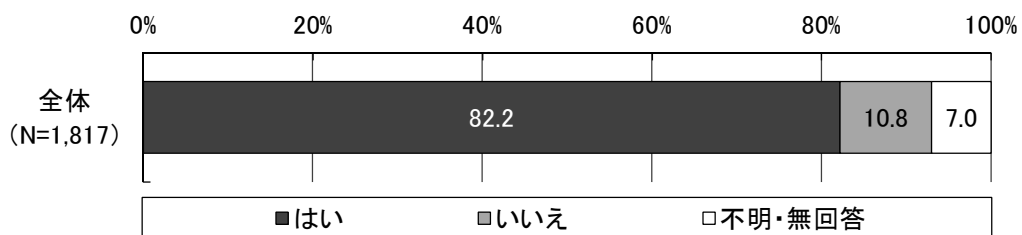
### (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをすることについては、「できるし、している」が74.0%、「できるけどしていない」が14.5%で、「できない」は4.7%となっています。



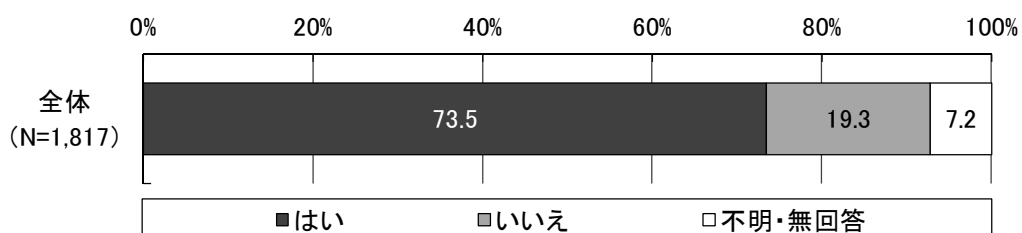
### (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書ける人は82.2%となっています。



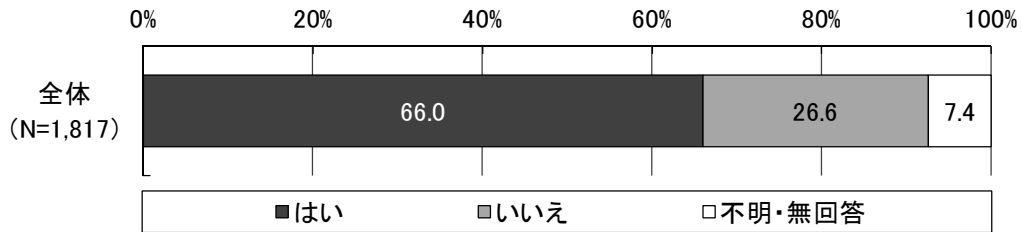
### (10) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいる人は73.5%となっています。



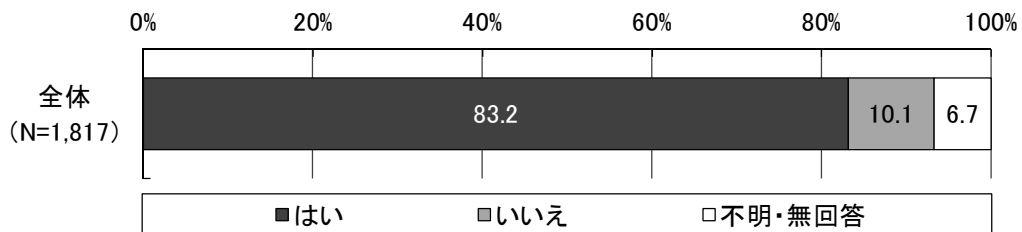
(11) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいる人は66.0%となっています。



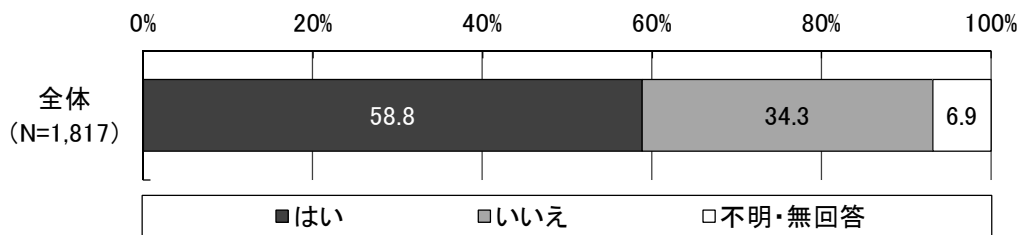
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組に関心がある人は83.2%となっています。



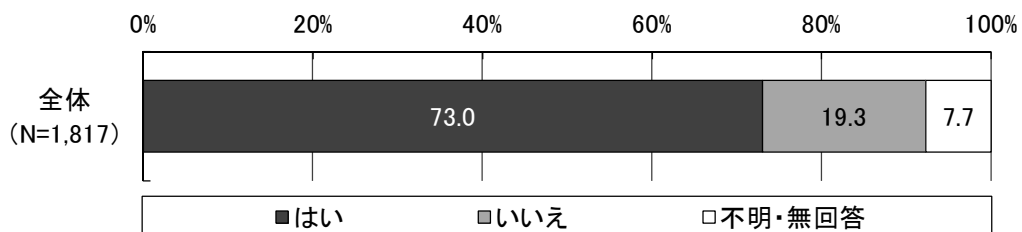
(13) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねている人は58.8%となっています。



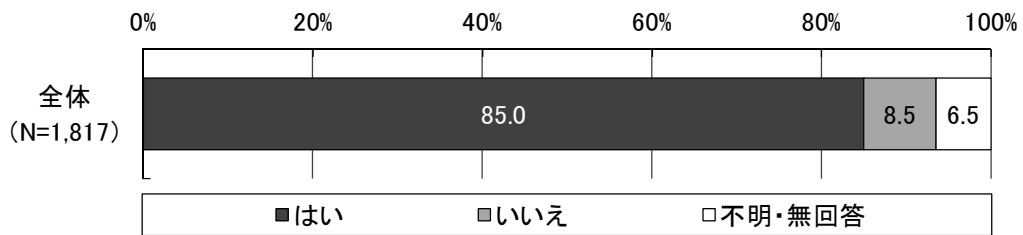
(14) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっている人は73.0%となっています。



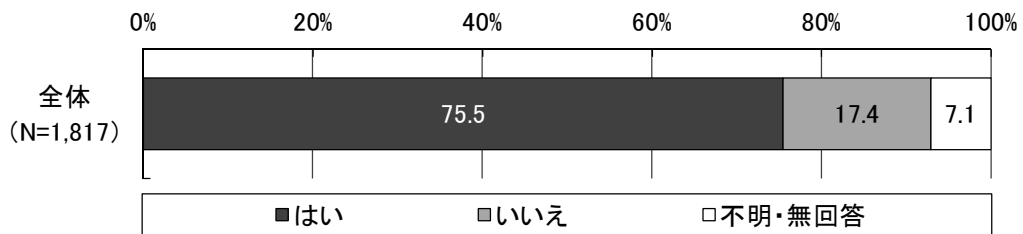
### (15) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができる人は85.0%となっています。



### (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがある人は75.5%となっています。

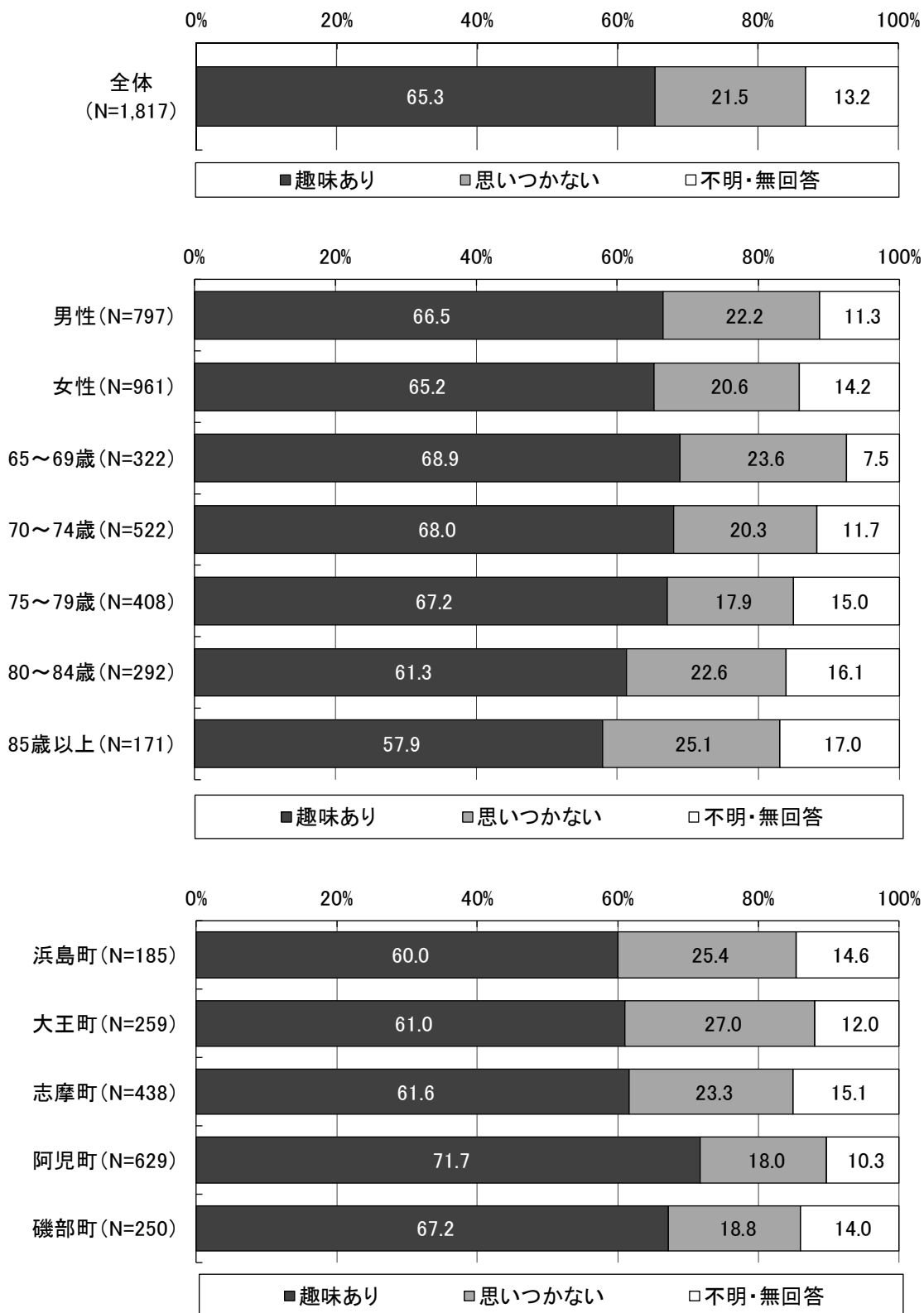




### (17) 趣味はありますか

趣味のある人は65.3%となっています。

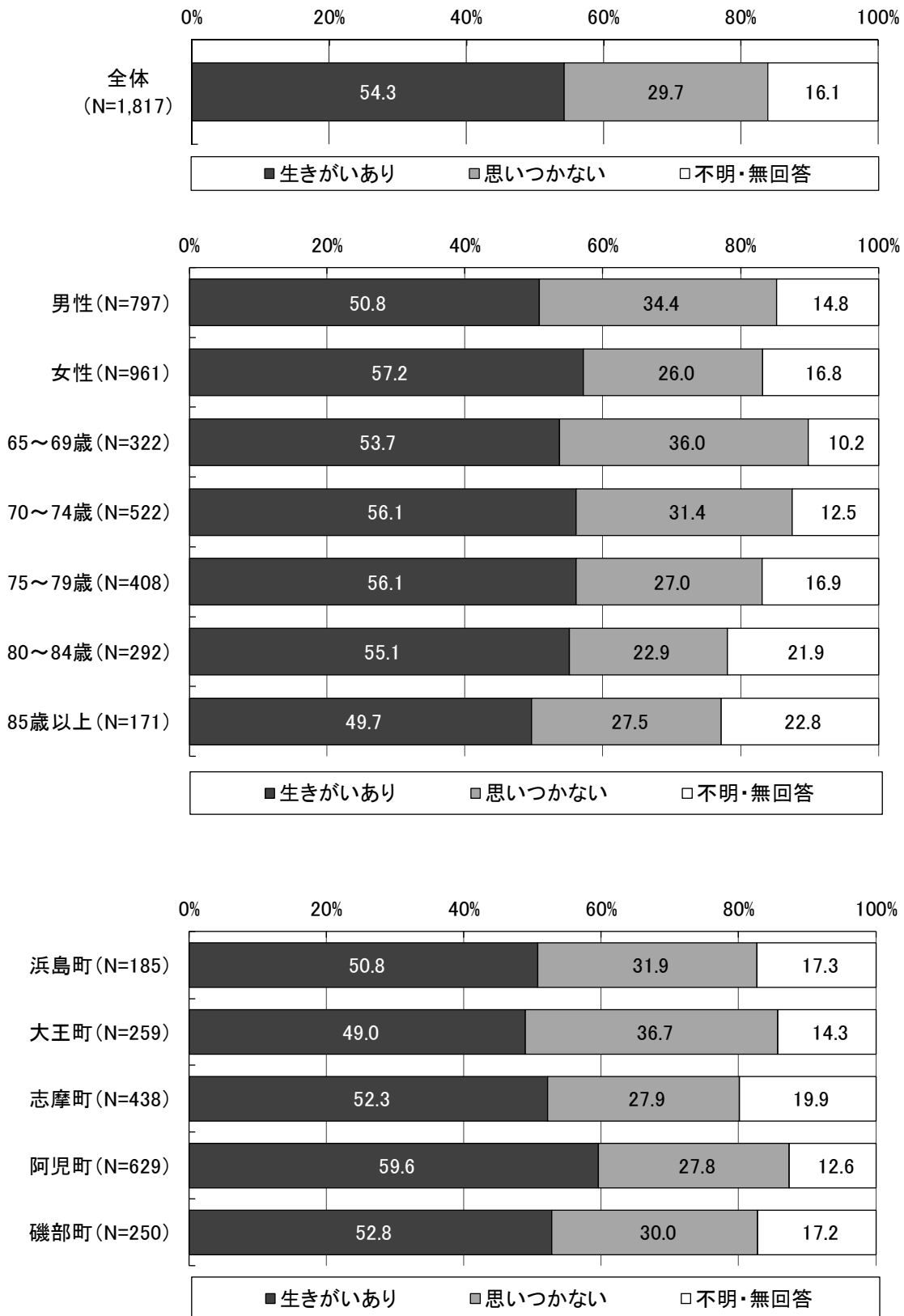
年齢が上がるほど、「趣味あり」という回答が減少しています。阿児町、磯部町では、他の地域より「趣味あり」が多くなっています。



### (18) 生きがいはありますか

生きがいのある人は54.3%となっています。

年齢が上がるほど、「思いつかない」という回答が増加しています。阿児町では、他の地域より「生きがいあり」が多くなっています。



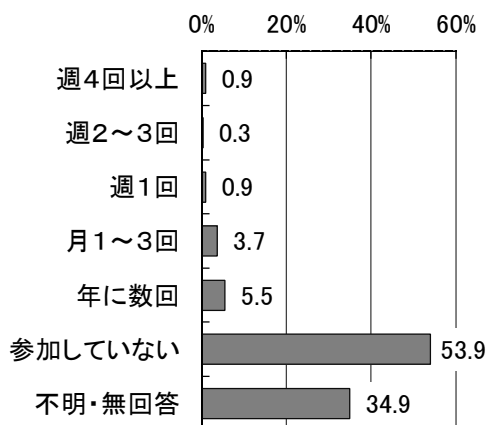
## 5. 地域での活動について

### (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

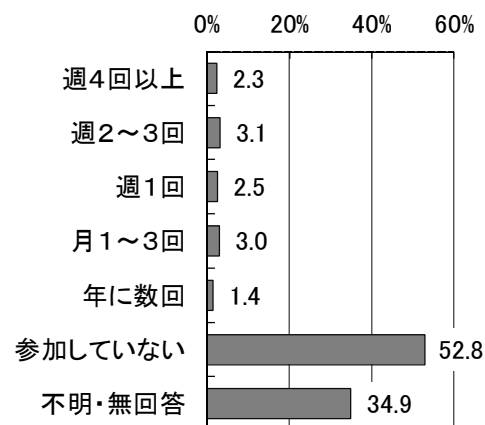
いずれの活動も「参加していない」が4割を超えて最も多く、無回答もそれぞれ3割を超えています。参加している人（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）の割合は⑧収入のある仕事で23.1%と最も高く、次いで③趣味関係のグループで20.4%、⑦町内会・自治会で18.5%となっています。②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループについては、週1回以上の高い頻度での参加の割合が、他の会・グループよりも高くなっています。

地域別にそれぞれの参加率をみると、いずれの活動についても磯部町の参加率が高い傾向があります。特に、⑤老人クラブの参加率は他の地域を大きく上回っています。⑥町内会・自治会については浜島町、磯部町の参加率が高くなっています。また志摩町は、⑤老人クラブについて、参加率がもっとも低くなっています。

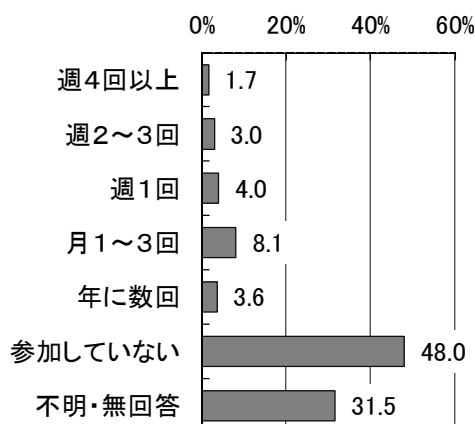
全体(N=1,817) ①ボランティアのグループ



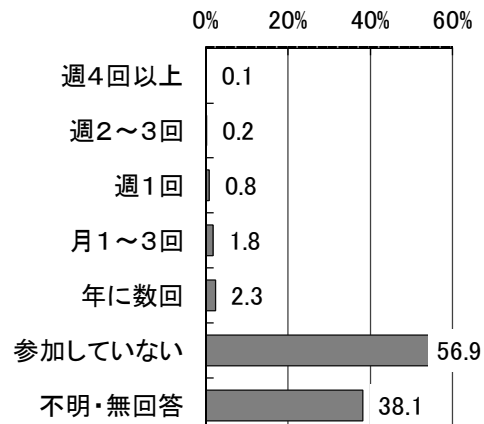
全体(N=1,817) ②スポーツ関係のグループやクラブ



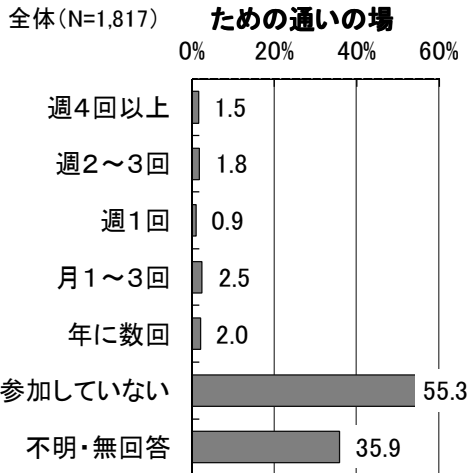
全体(N=1,817) ③趣味関係のグループ



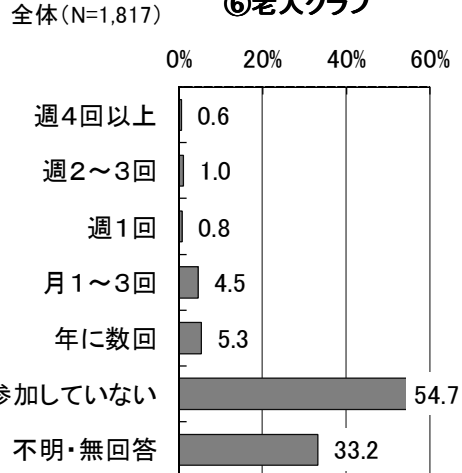
全体(N=1,817) ④学習・教養サークル



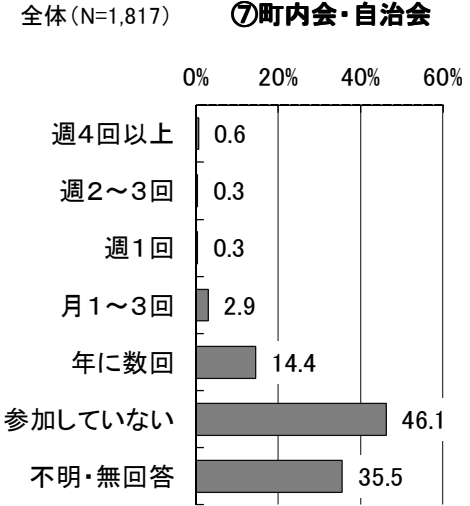
⑤ 健脚運動など介護予防のための通いの場



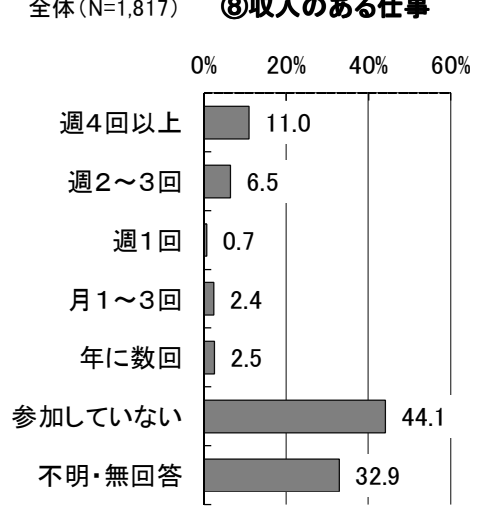
⑥ 老人クラブ



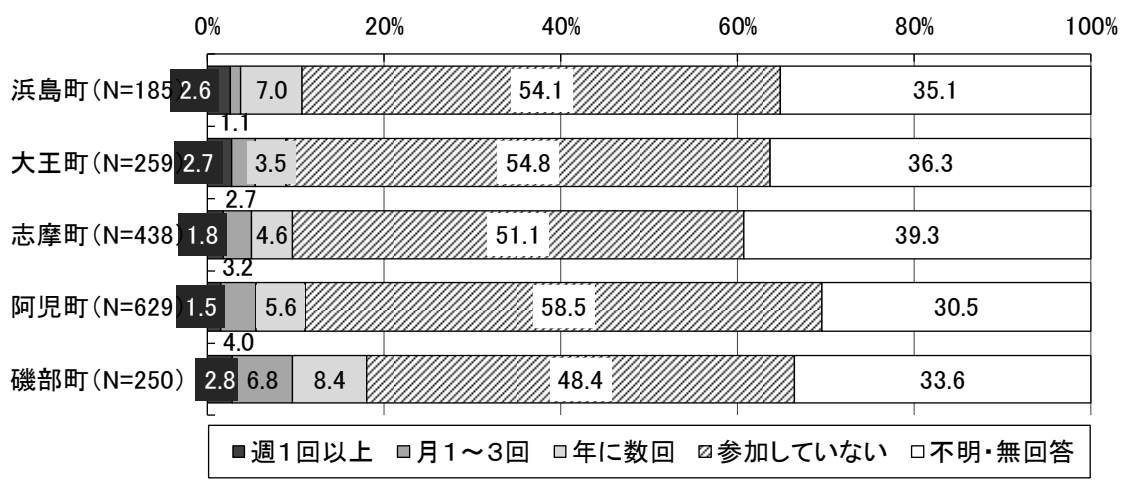
⑦ 町内会・自治会



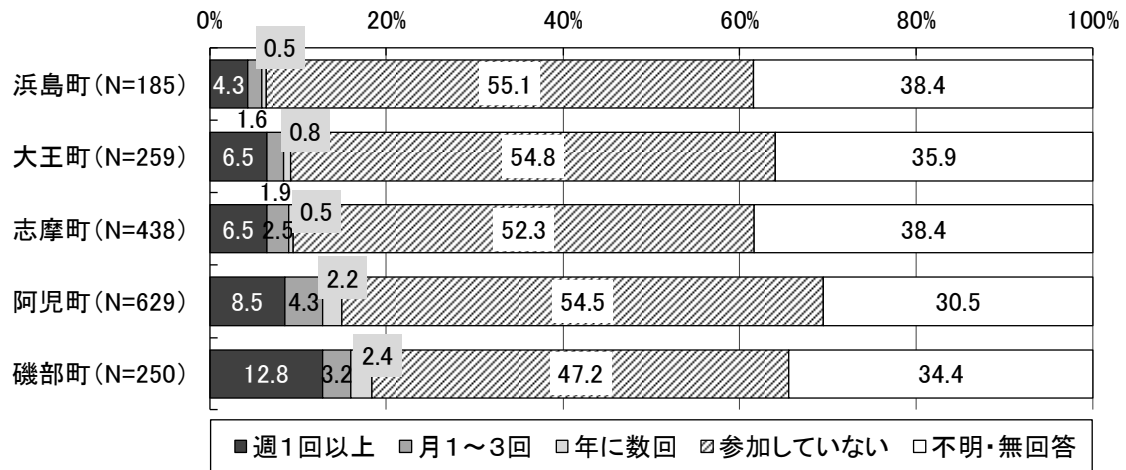
⑧ 収入のある仕事



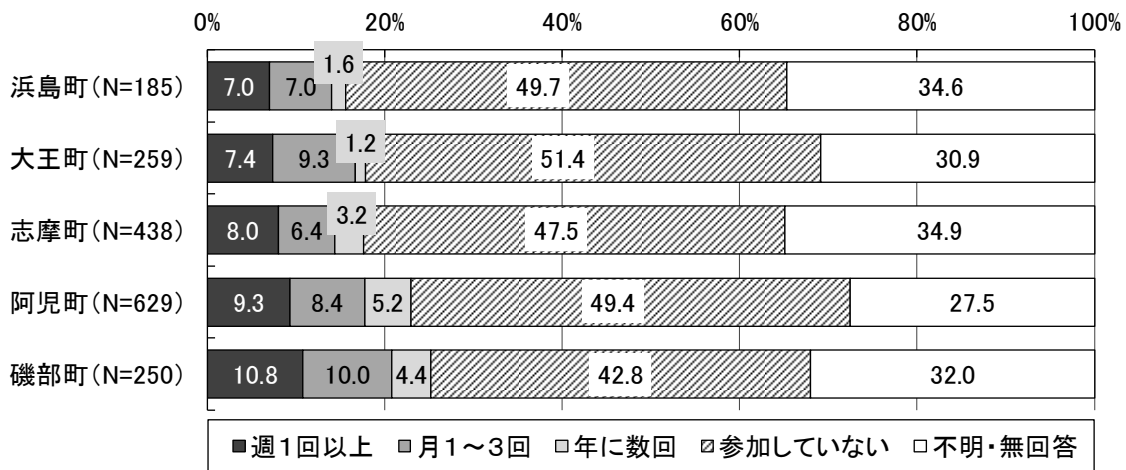
① ボランティアのグループ



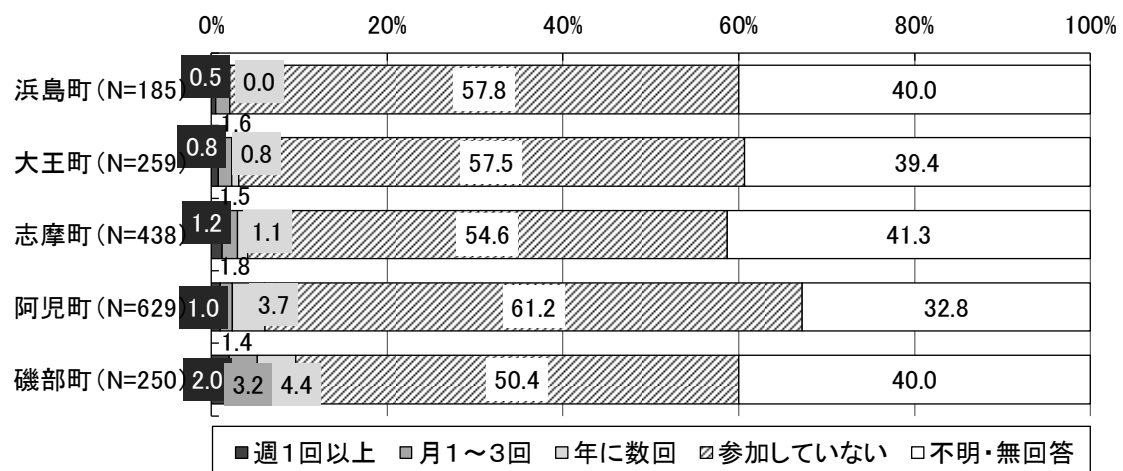
## ② スポーツ関係のグループやクラブ



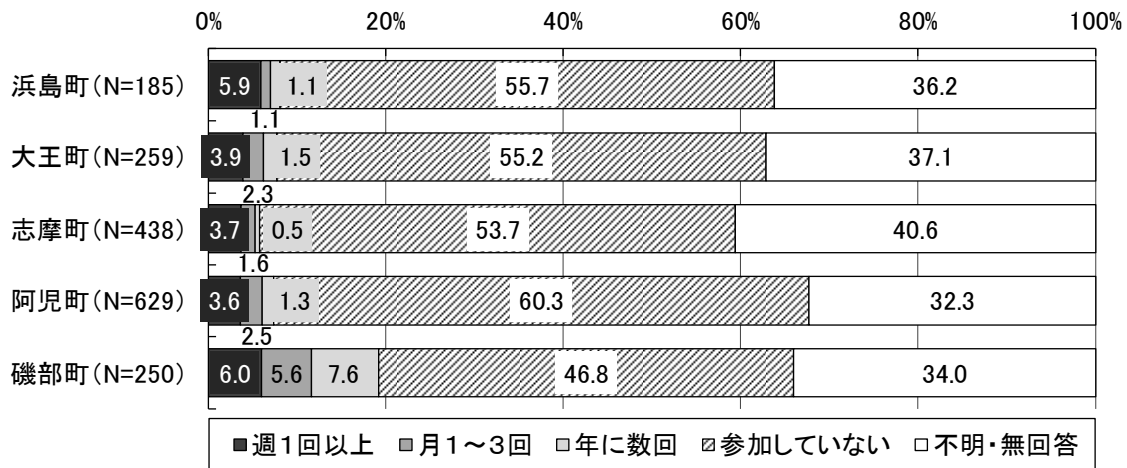
## ③ 趣味関係のグループ



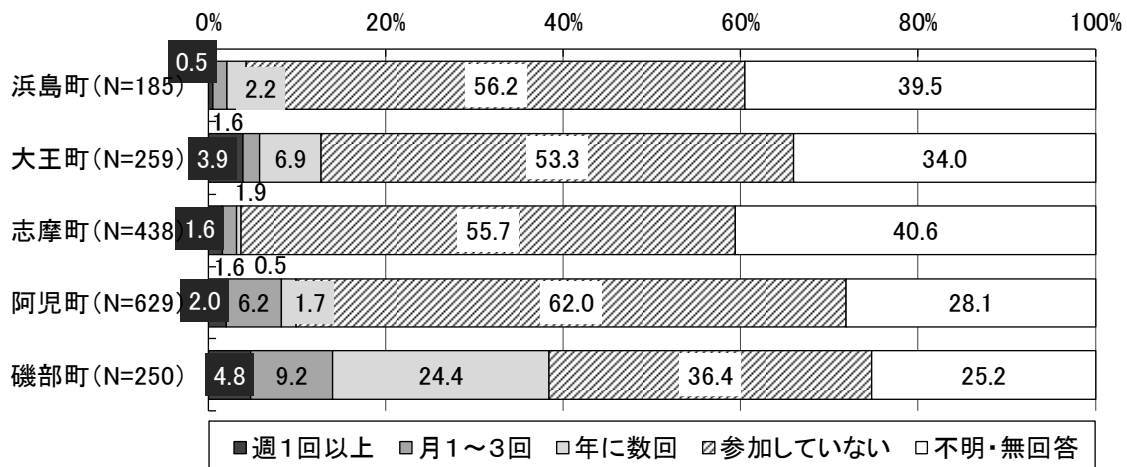
## ④ 学習・教養サークル



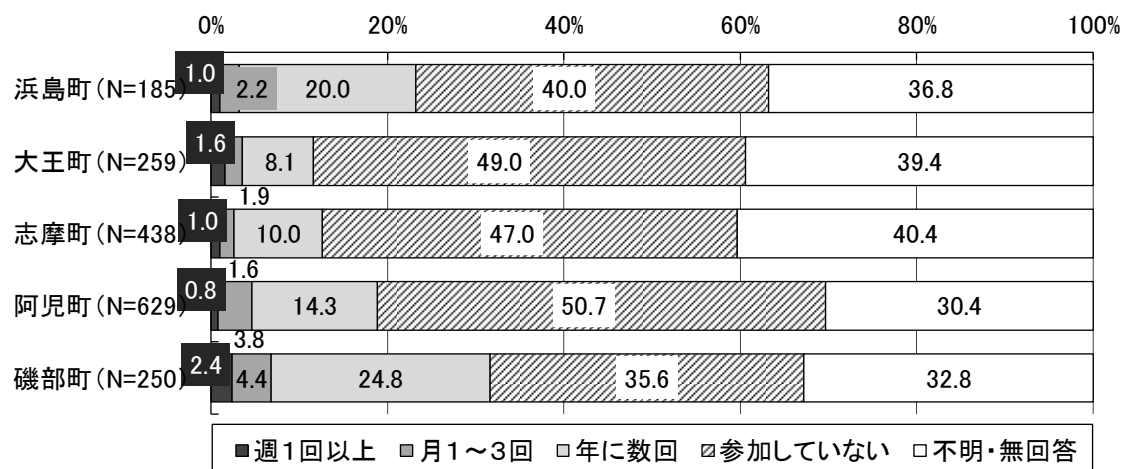
⑤ 健脚運動など介護予防のための通いの場



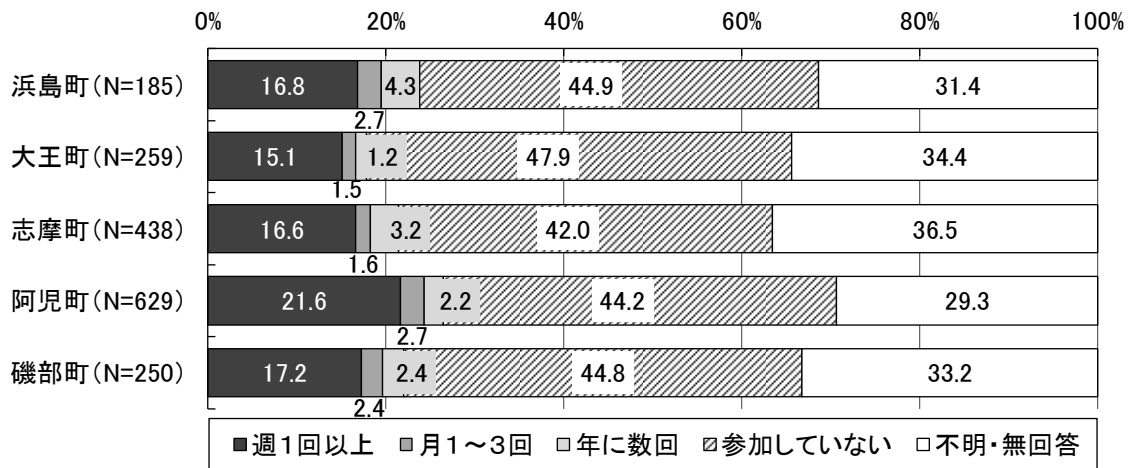
⑥ 老人クラブ



⑦ 町内会・自治会



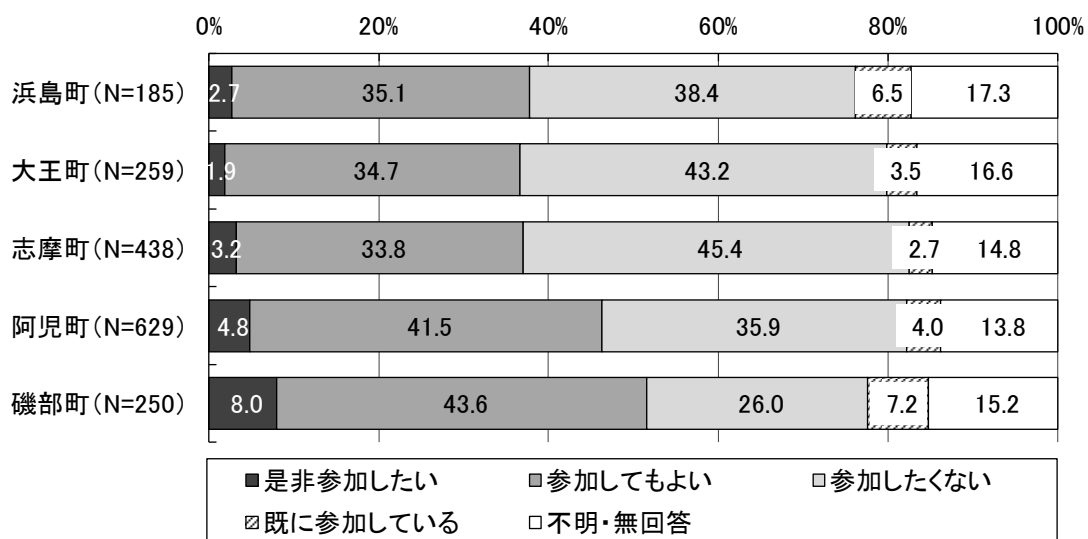
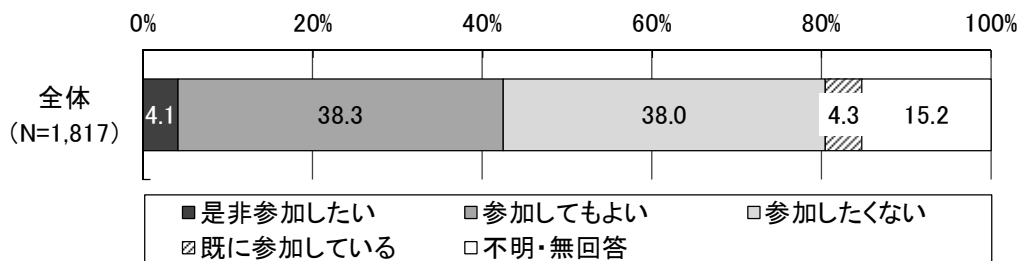
## ⑧ 収入のある仕事



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

地域づくり活動に参加することについて、「既に参加している」が4.3%となっています。「是非参加したい」4.1%と「参加してもよい」38.3%を合わせると、参加に前向きな回答は全体の約4割となっています。

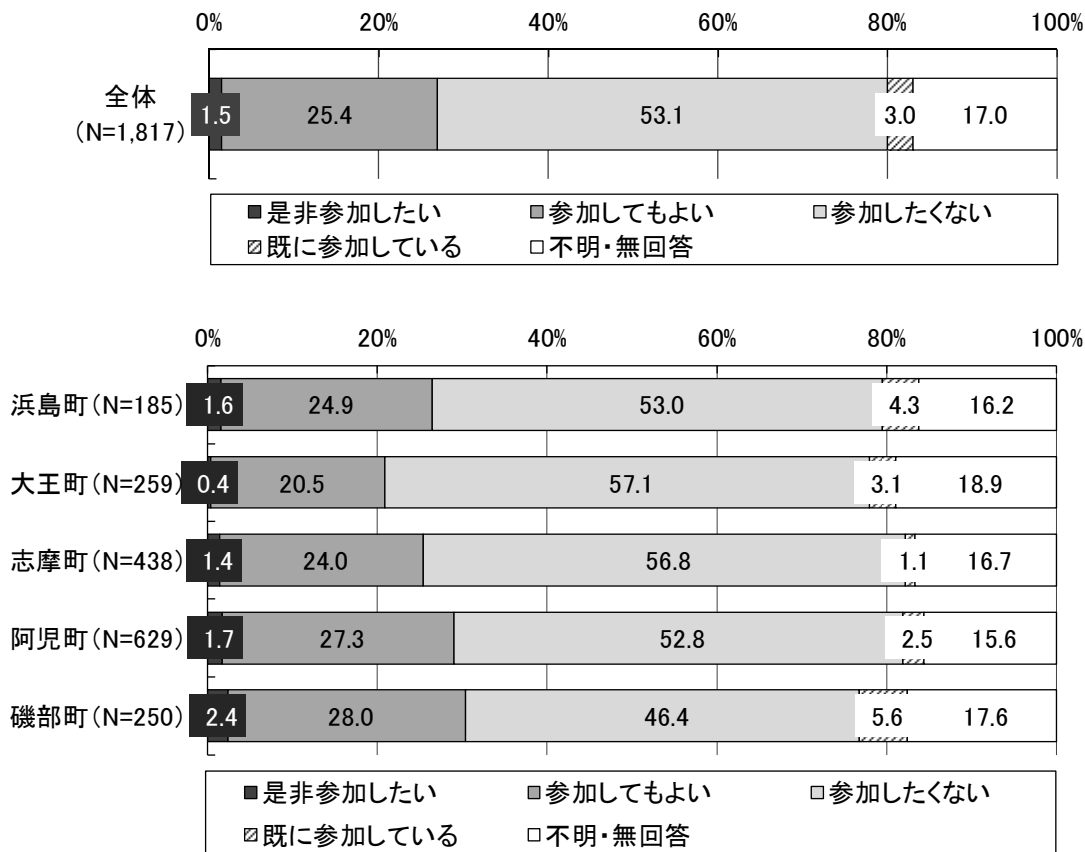
参加に前向きな回答は磯部町で多く、浜島町、大王町、志摩町で少なくなっています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

地域づくり活動に企画・運営(お世話役)として参加することについて、「既に参加している」が3.0%となっています。前向きな回答である「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計は、全体の約4分の1です。「参加したくない」が半数を超えています。

地域別では、参加に前向きな回答は磯部町が最も多く、また「是非参加したい」についても、磯部町で最も多くなっています。





## 6. たすけあいについて

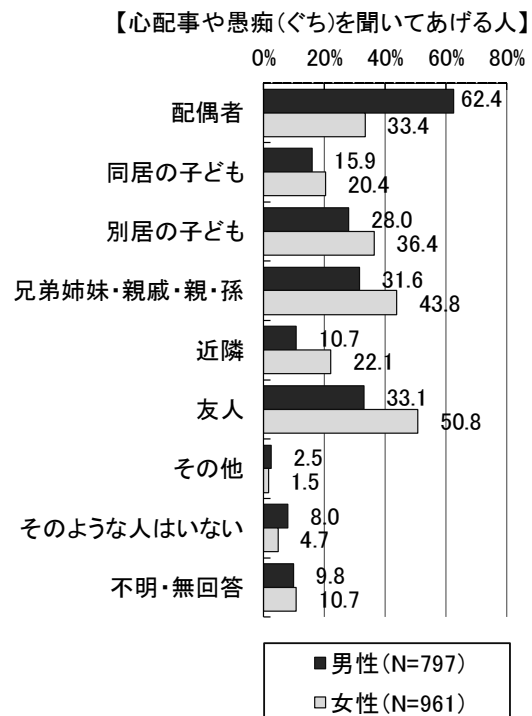
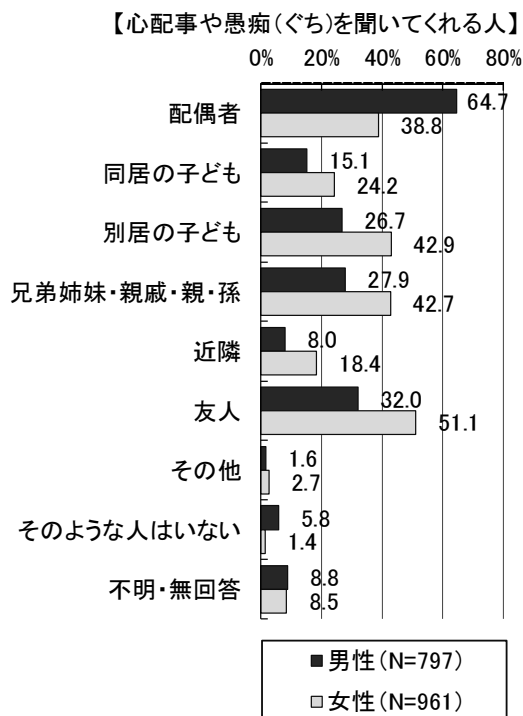
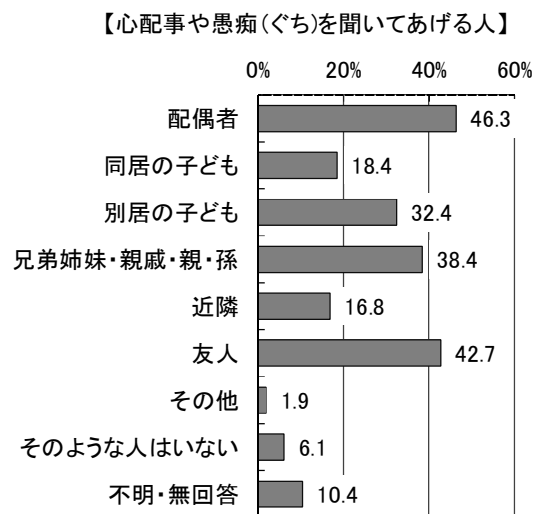
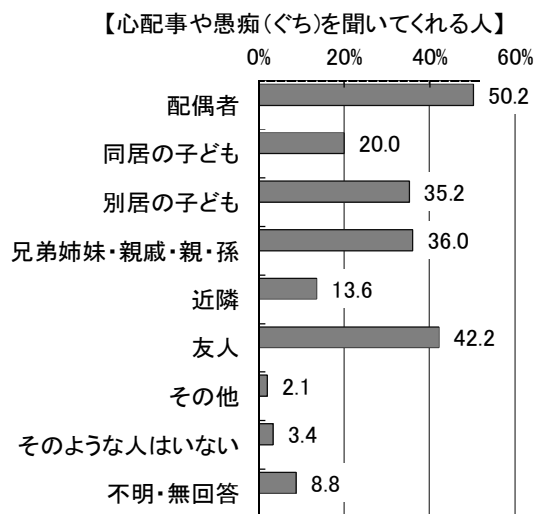
(1・2) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人・反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が50.2%で最も多く、次いで「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多くなっています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人についても、「配偶者」が46.3%で最も多く、次いで「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多くなっています。

男女別では、男性はいずれも「配偶者」が最も多いのに対し、女性は「友人」が最も多くなっています。

全体(N=1,817)



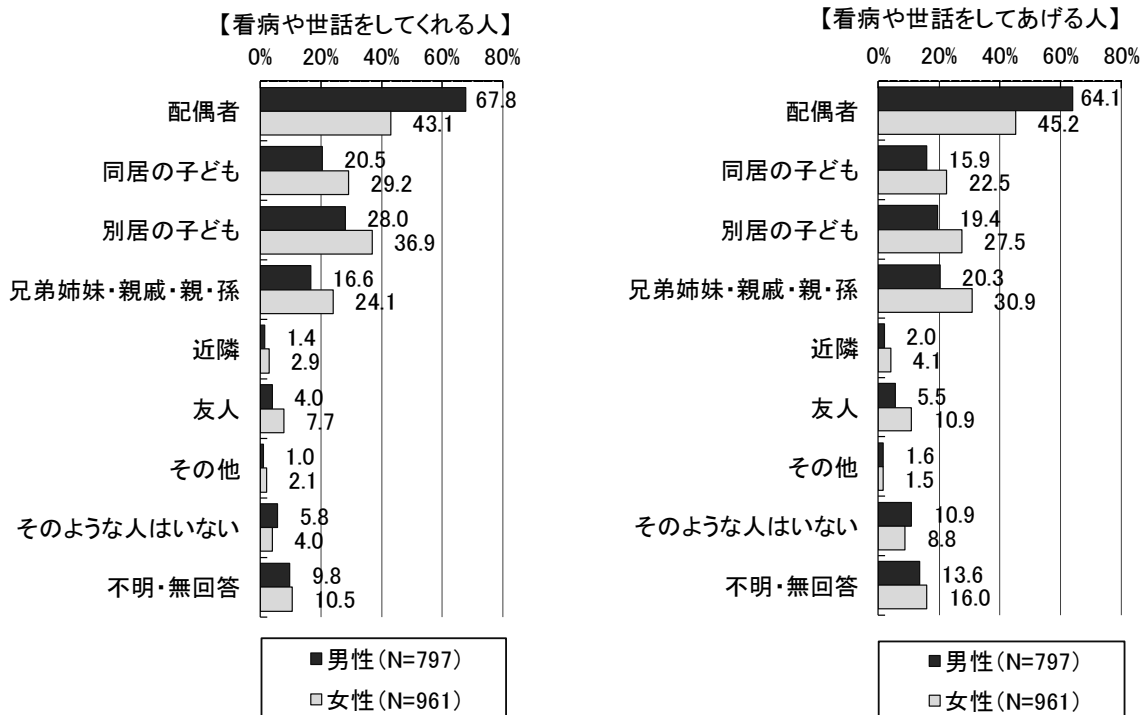
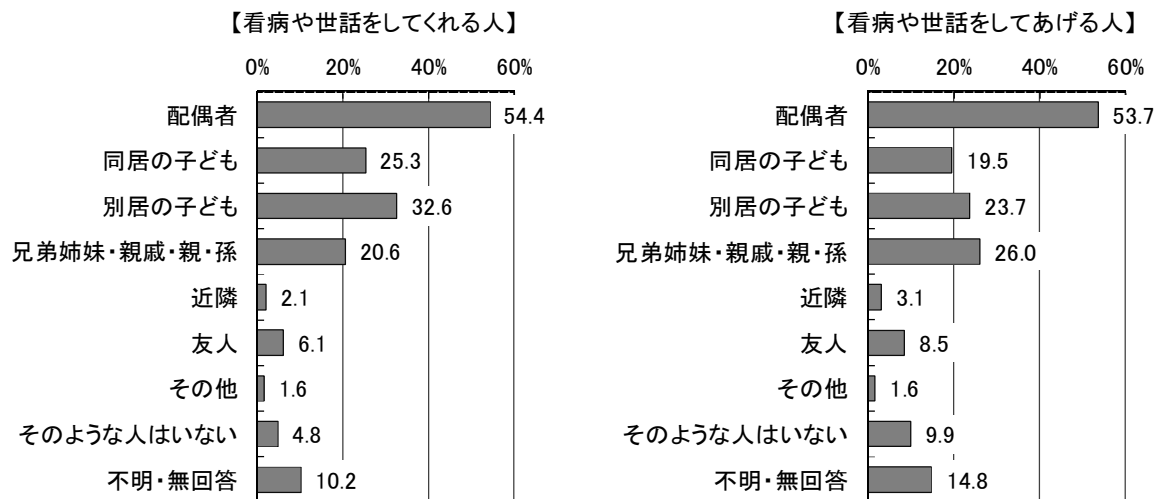
(3・4) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人・反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が54.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」、「同居の子ども」が多くなっています。

看病や世話をしあける人については、「配偶者」が53.7%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」が多くなっています。

男女別では、男性は「配偶者」がいずれも6割台ですが、女性はいずれも4割台と男性より少なく、配偶者以外の回答は男性より多くなっています。

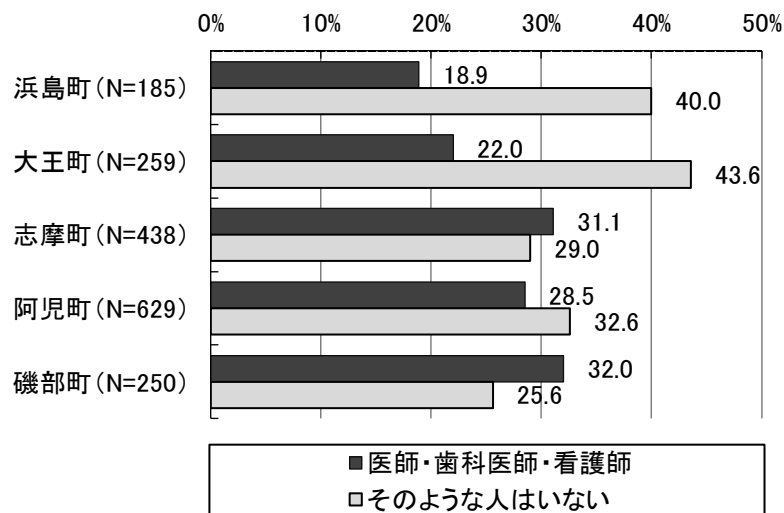
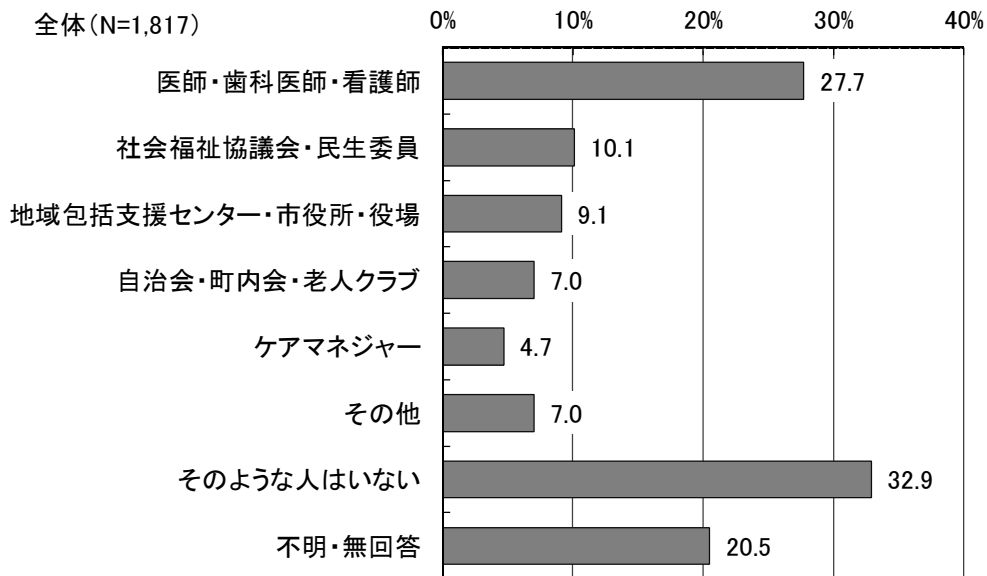
全体 (N=1,817)



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
(いくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が32.9%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が27.7%、「社会福祉協議会・民生委員」が10.1%となっています。

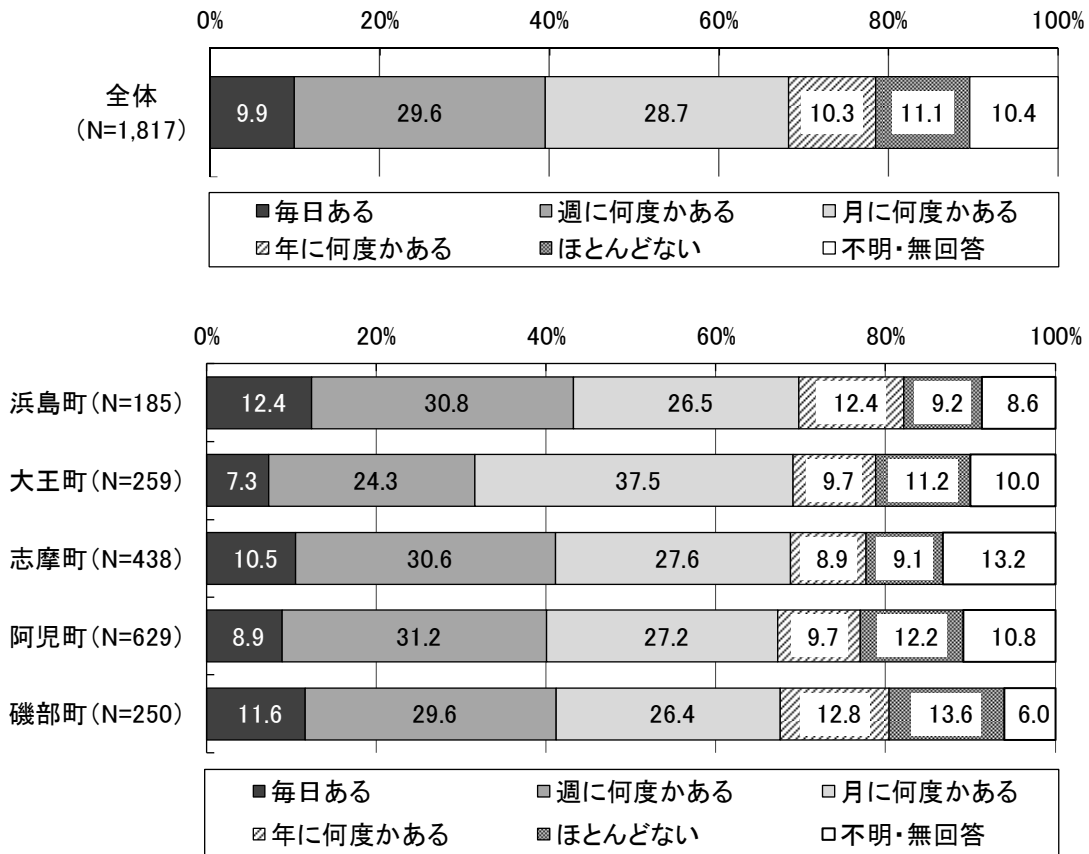
相談する相手として最も多かった「医師・歯科医師・看護師」と、「そのような人はいない」を地域別にみると、「医師・歯科医師・看護師」は志摩町、磯部町で、「そのような人はいない」は浜島町、大王町、阿児町で多くなっています。



## (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

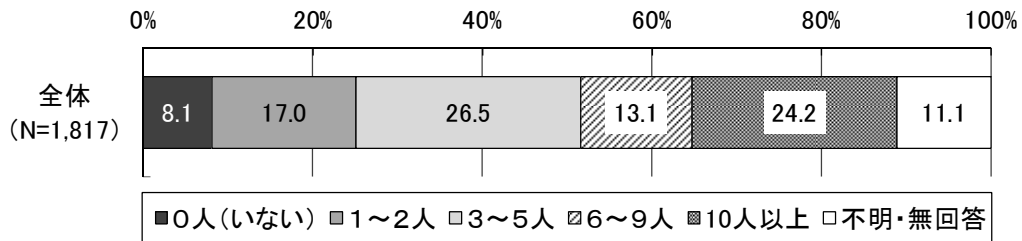
友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が29.6%で最も多く、次いで「月に何度かある」が28.7%、「ほとんどない」が11.1%となっています。

地域別にみると、大王町における頻度が比較的少なくなっています。



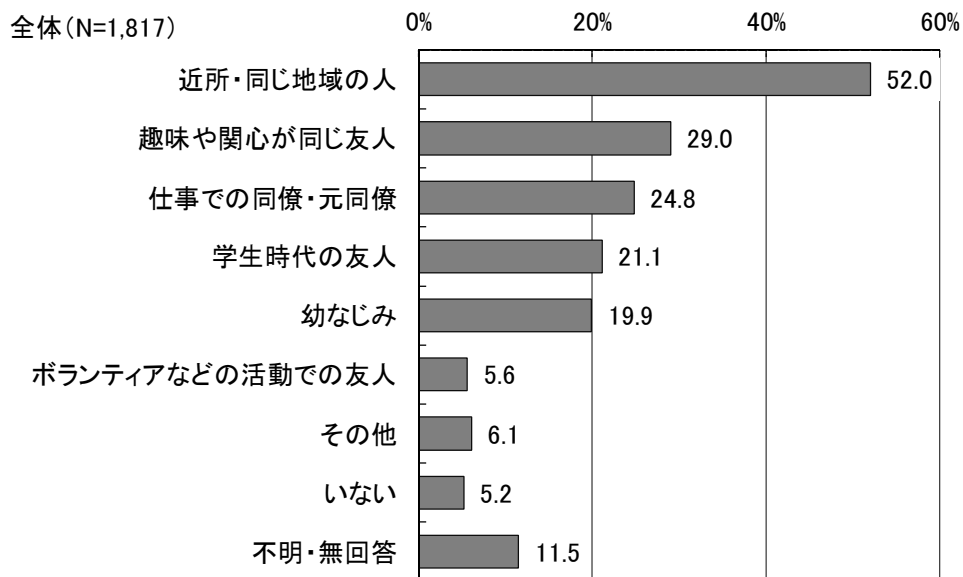
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします

1か月間で会った友人・知人の数については、「3～5人」が26.5%で最も多く、次いで「10人以上」が24.2%、「1～2人」が17.0%となっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

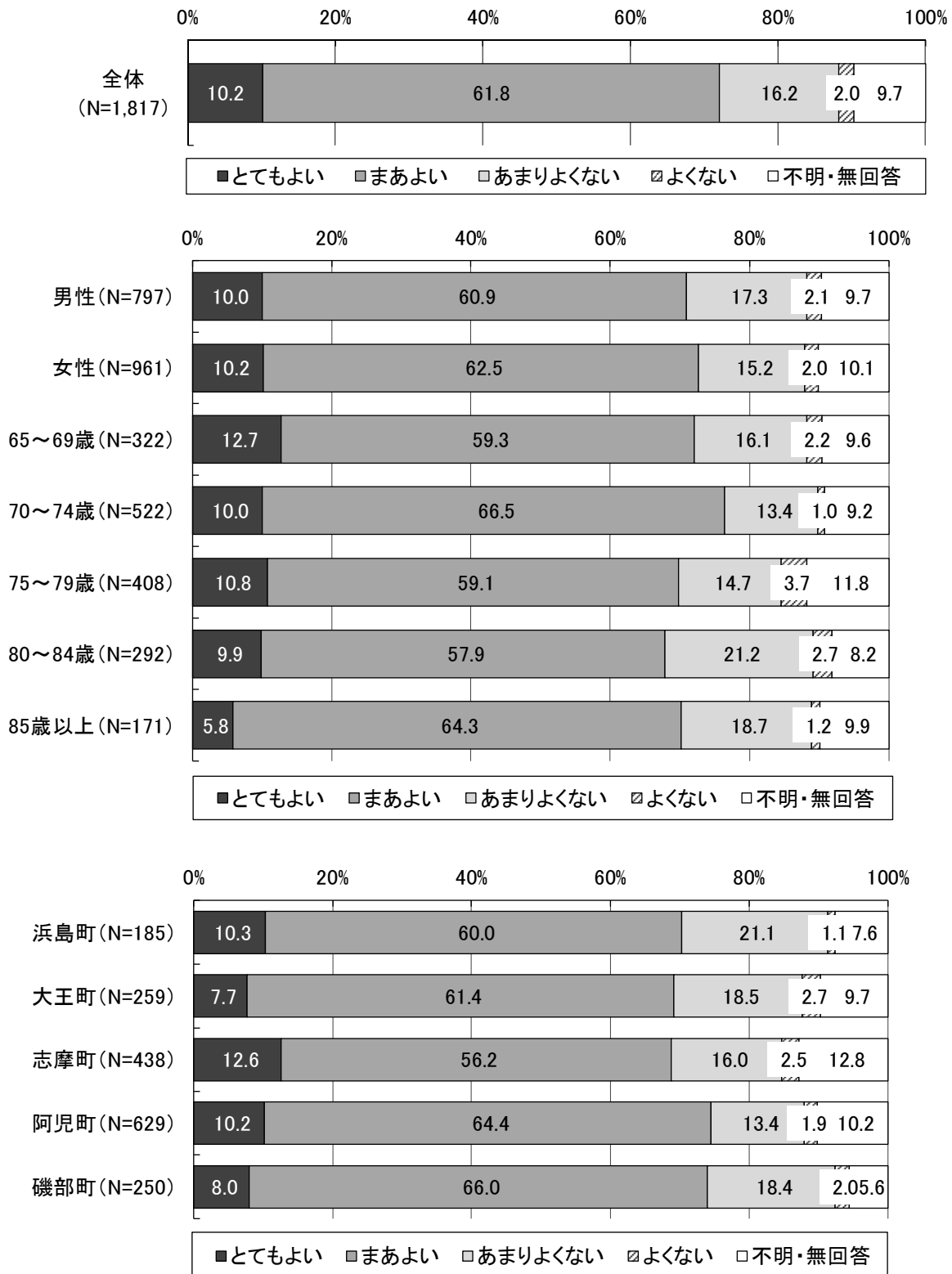
よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が52.0%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が29.0%、「仕事での同僚・元同僚」が24.8%となっています。



## 7. 健康について

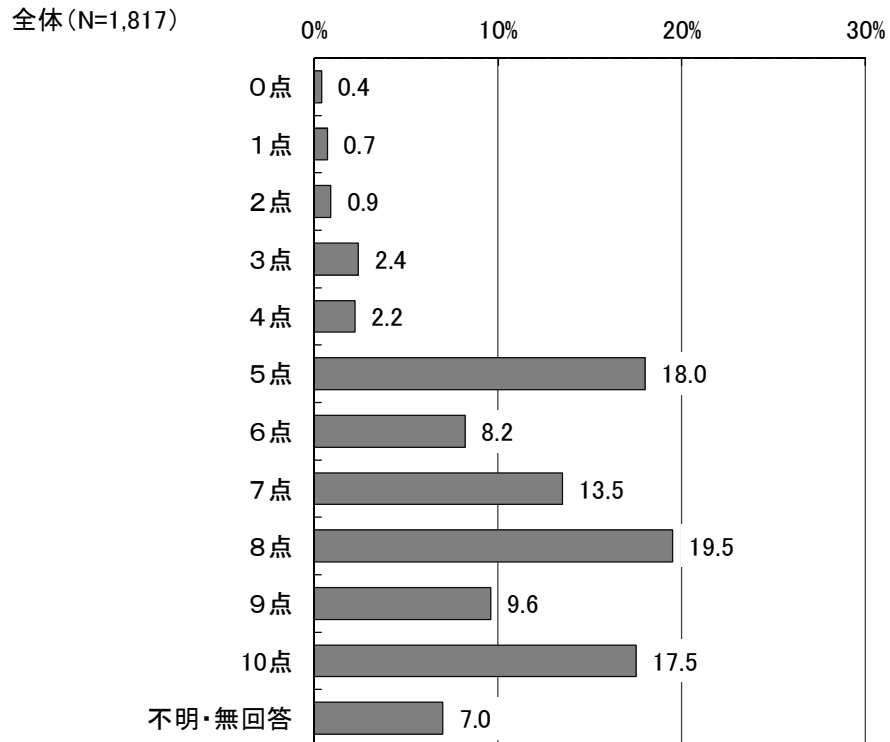
### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

健康状態については、「とてもよい」または「まあよい」と回答した人が7割を超えています。一方、「あまりよくない」または「よくない」と回答した人が約2割となっています。年齢が上がるほど「とてもよい」が減少する傾向にあります。



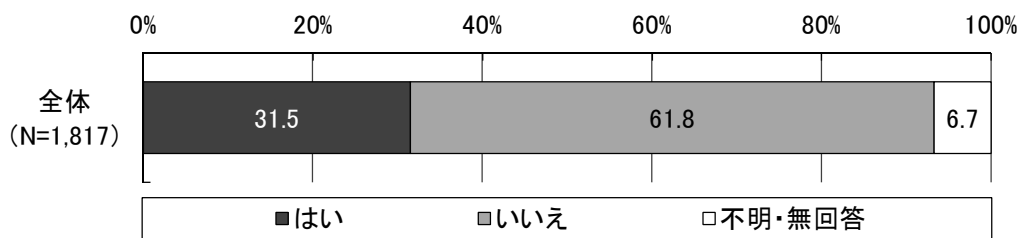
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

10点満点で回答する主観的な幸福感については、5点以上を回答した人が8割半ばを超えています。0～4点を回答した人は全体の6.6%です。



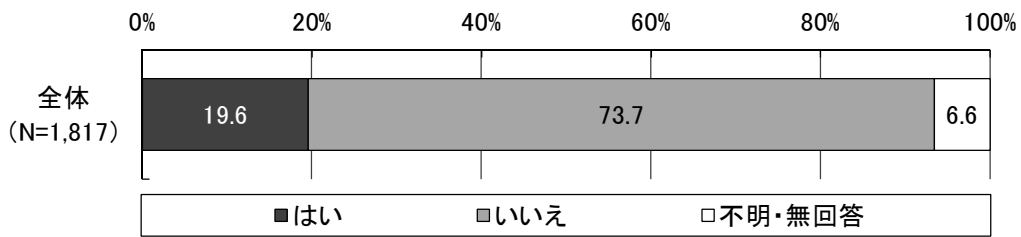
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」と回答した人が31.5%となっています。



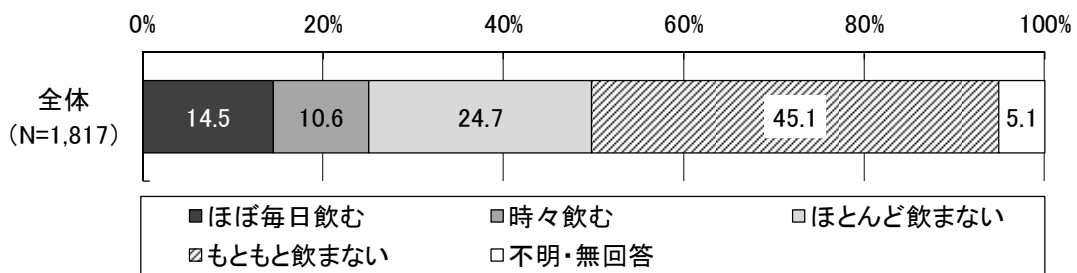
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」と回答した人が19.6%となっています。



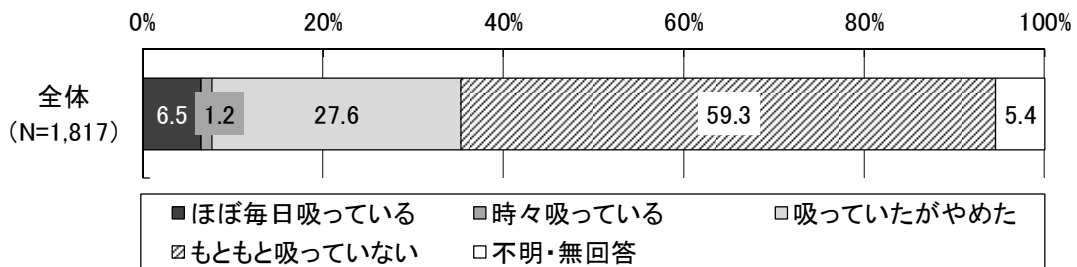
(5) お酒は飲みますか

飲酒については「もともと飲まない」が45.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.7%、「ほぼ毎日飲む」が14.5%となっています。



(6) タバコは吸っていますか

「ほぼ毎日吸っている」が6.5%となっており、「時々吸っている」と合わせると、7.7%が喫煙者となっています。また、27.6%は「吸っていたがやめた」と回答しています。

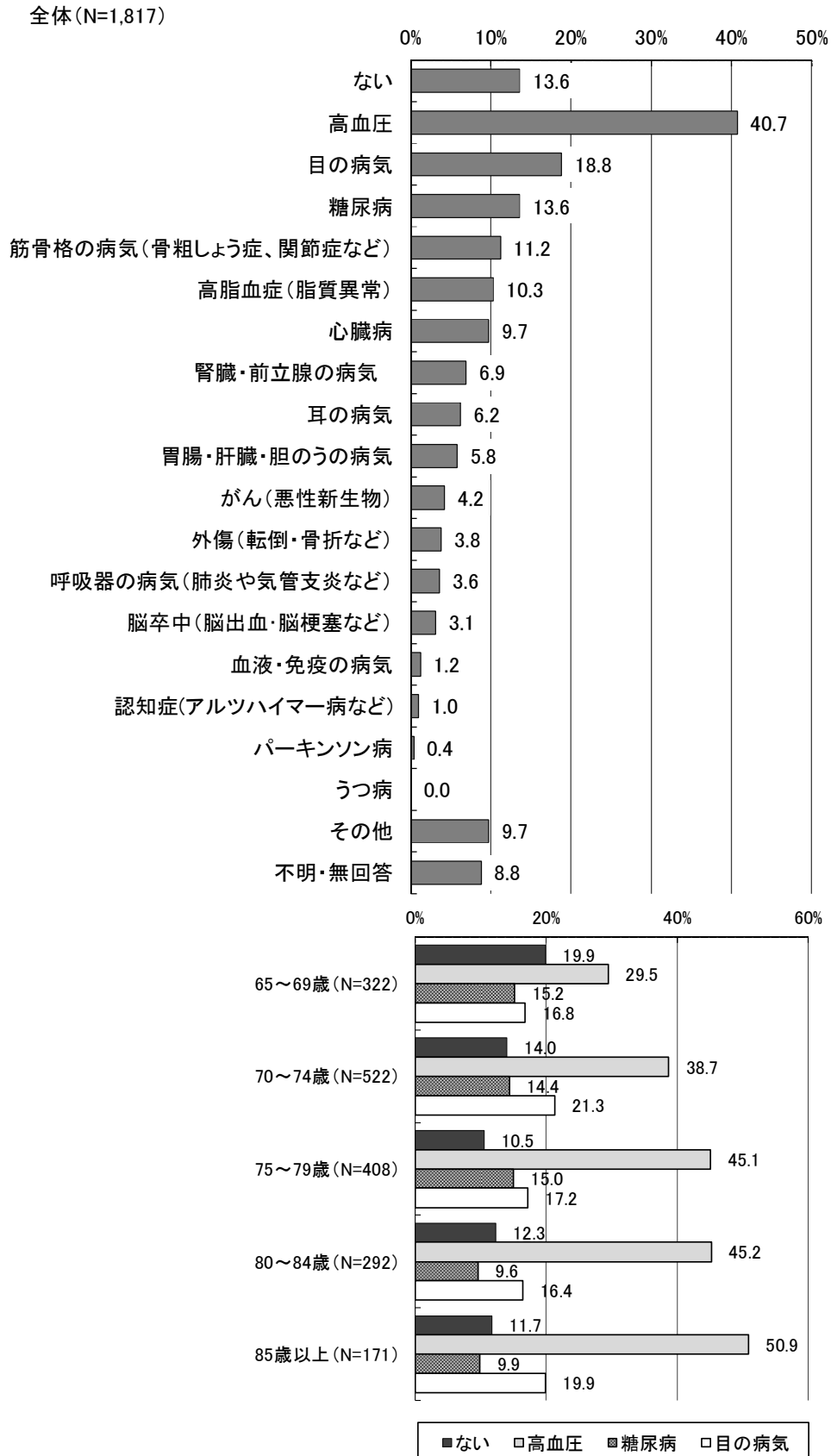




### (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気について、「ない」という回答は13.6%となっています。病名が回答されたものの中では「高血圧」が40.7%で最も多く、次いで、「目の病気」、「糖尿病」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症など)」、「高脂血症(脂質異常)」がそれぞれ1割台となっています。

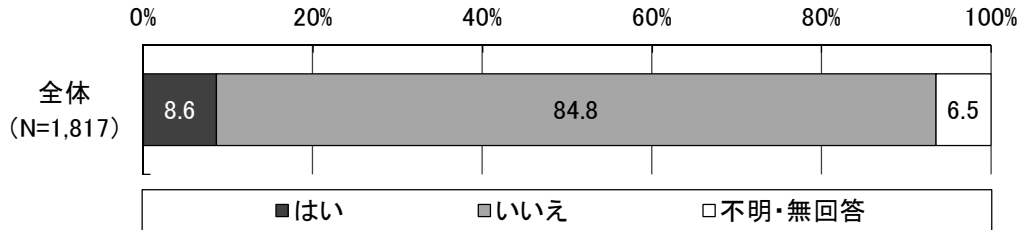
年齢が上がるほど「高血圧」が増加する傾向にあります。



## 8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

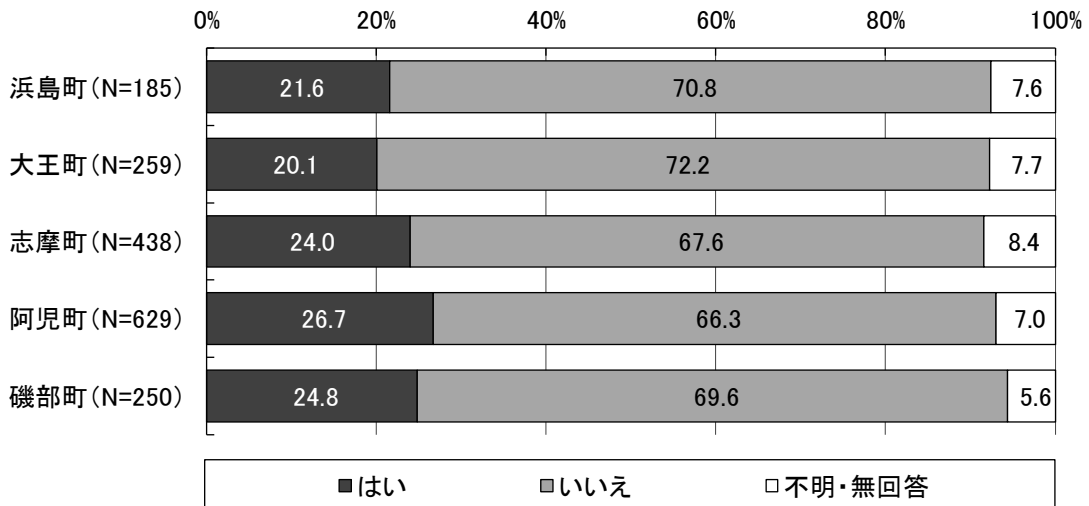
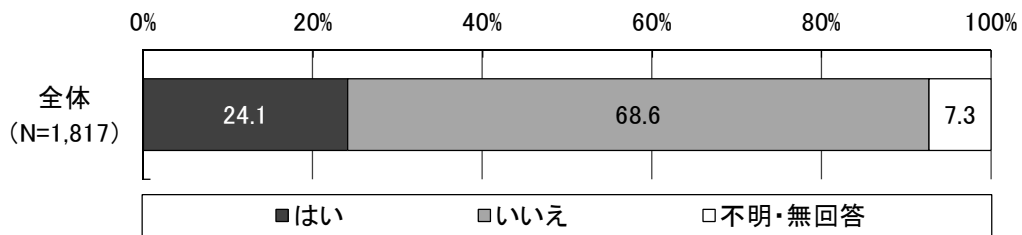
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人は8.6%となっています。



### (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っている人は24.1%となっています。

地域別にみると、浜島町、大王町における認知度が比較的に少なくなっています。



## 9. 生活機能評価に関する分析

生活機能評価等については、特に言及がなければ「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2019年10月23日）」に基づいて、判定を行っています。

### （1）運動器の機能低下

本調査の下表の設問は、運動器の機能低下を問う設問となっています。下の表の通りに運動器の機能低下の有無を判定した結果を見ると、全体の12.9%に運動器の機能低下がみられます。なお、該当する設問に無回答があり、判定ができない回答者については「判定不能」としています。

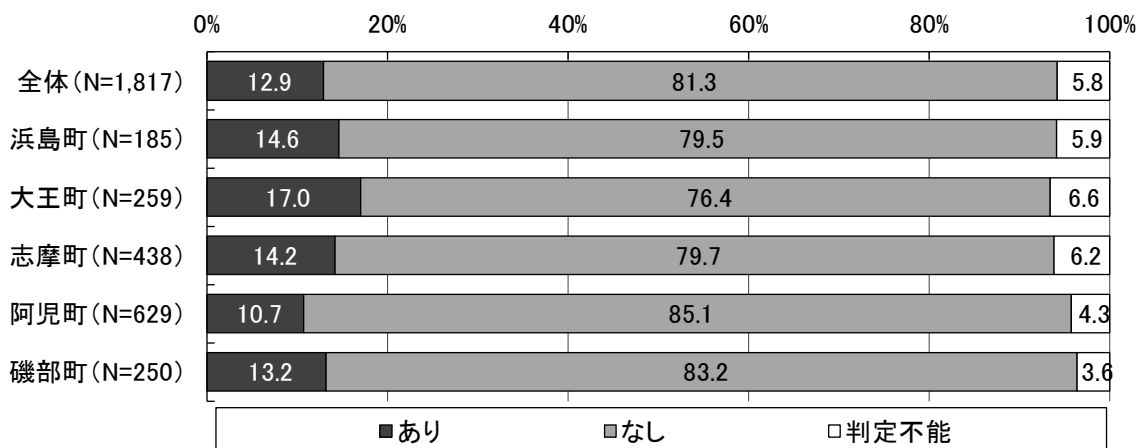
地域別では、大王町が最も該当者が多く、阿児町で最も少なくなっています。大王町と阿児町は、本調査における高齢者の年齢構成に大きな差がありません。したがって、地域別の差は年齢構成の違いによってもたらされたものというより、何らかの地域特性による差が影響していると考えする必要があります。

判定不能を除いた件数で、性別・年齢別の結果を見ると、年齢が上がるほど該当者の割合が増加しており、男性より女性の方が、いずれの年代でも機能低下の割合が高くなっています。

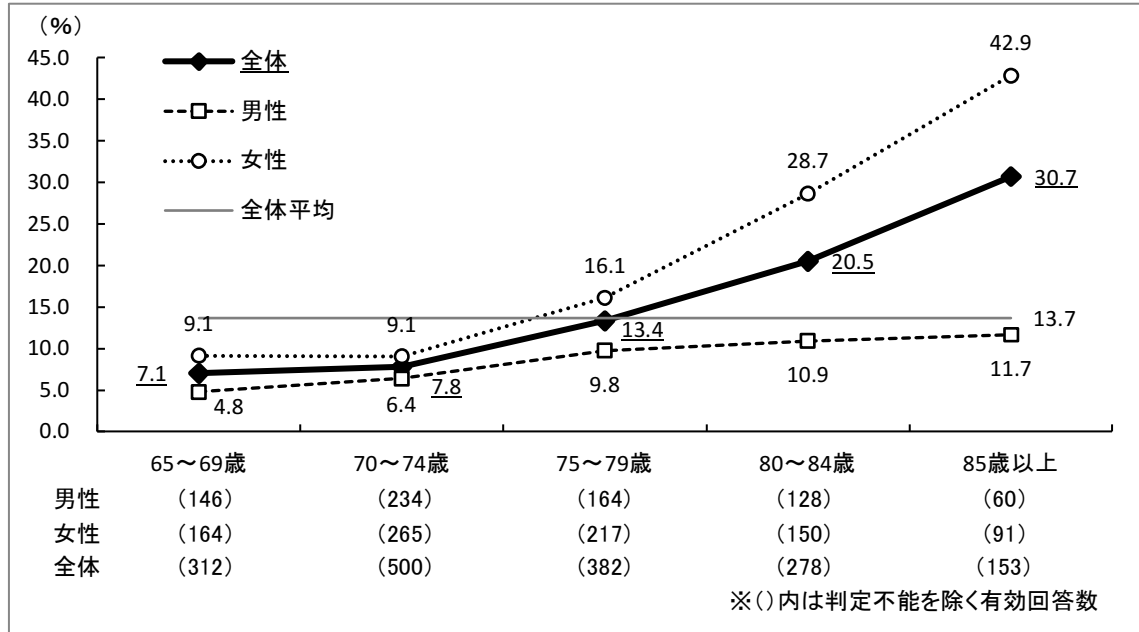
#### ■判定設問

設問内容	選択肢	
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
15分くらい続けて歩いていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 3. ない	2. 1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 3. あまり不安でない	2. やや不安である 4. 不安でない
判定方法	3問以上、該当する選択肢(上の網掛け箇所)が回答された場合は、運動器機能の低下している高齢者になります。	

#### ■判定結果



■性別・年齢別判定（判定不能を除いた集計）



## (2) 転倒リスク

以下の設問より、転倒リスクのある高齢者を判定しました。本調査では、転倒リスクのある人は29.0%となっています。

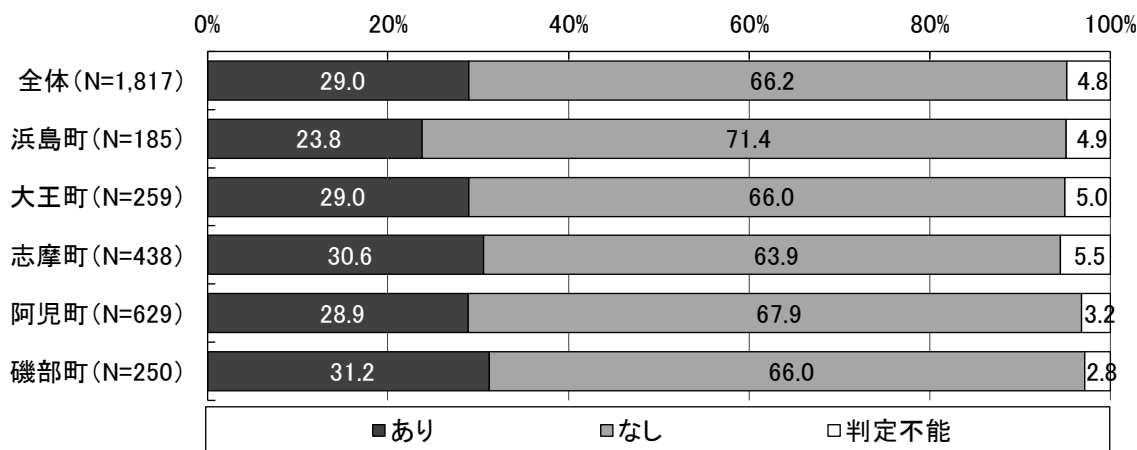
地域別では、磯部町がもっとも該当者が多く、浜島町がもっとも少なくなっています。

概ね、年齢が上がるほど該当者の割合が増加する傾向にあり、男性より女性の方が、該当者が多くなっています。

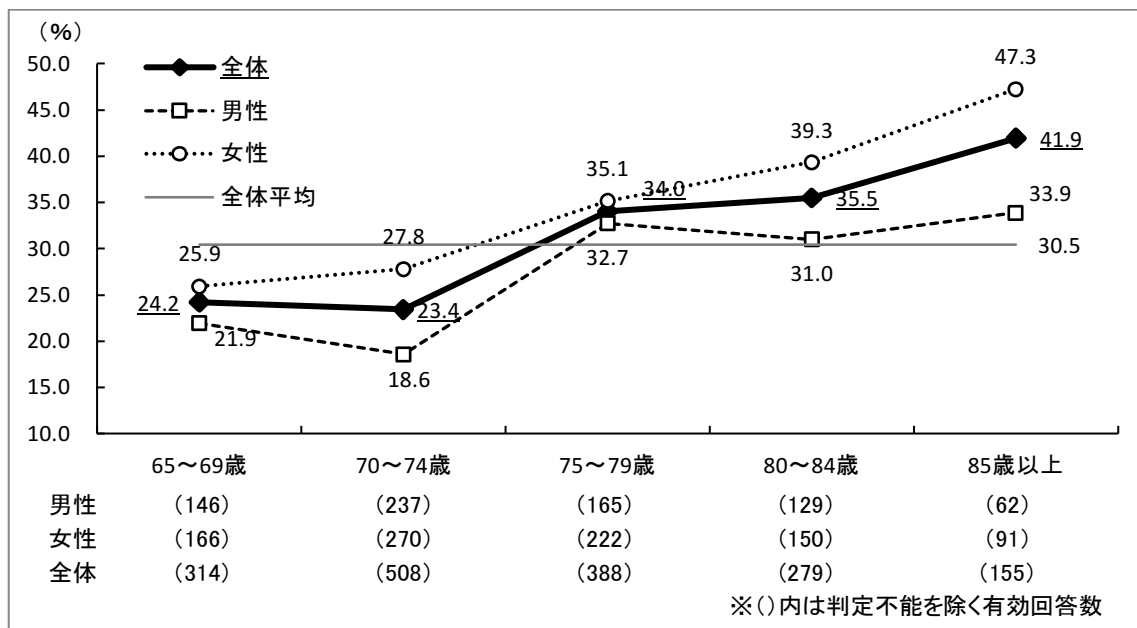
### ■判定設問

設問内容	選択肢	
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある	2. 1度ある
	3. ない	
判定方法	該当する選択肢(上の網掛け箇所)が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。	

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定 (判定不能を除いた集計)



### (3) 閉じこもり傾向

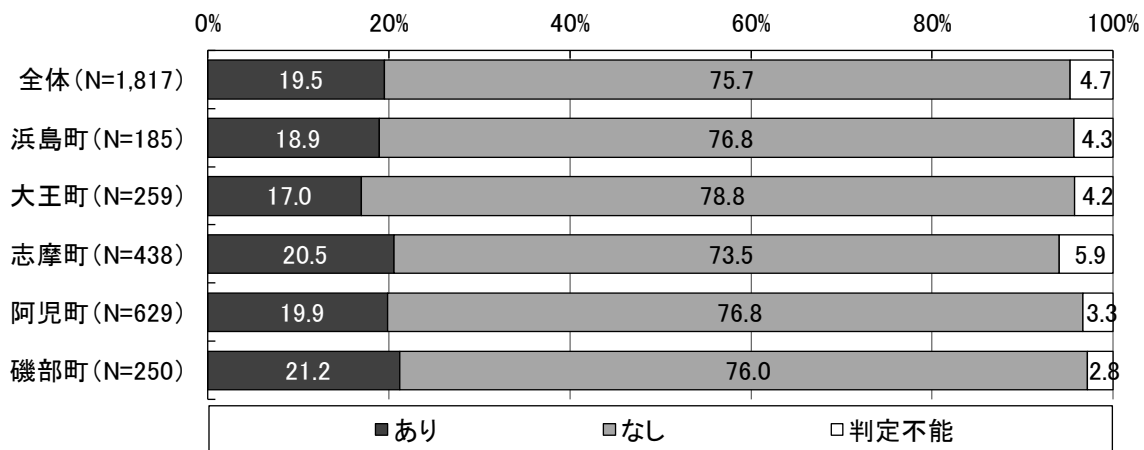
以下の設問より、閉じこもり傾向のある高齢者を判定しました。全体では19.5%が該当者となっています。

年齢が上がるほど該当者が増加し、75歳以降は男性より女性の方が該当者の割合が多くなっています。85歳以上の女性では、半数以上が閉じこもり傾向となっています。

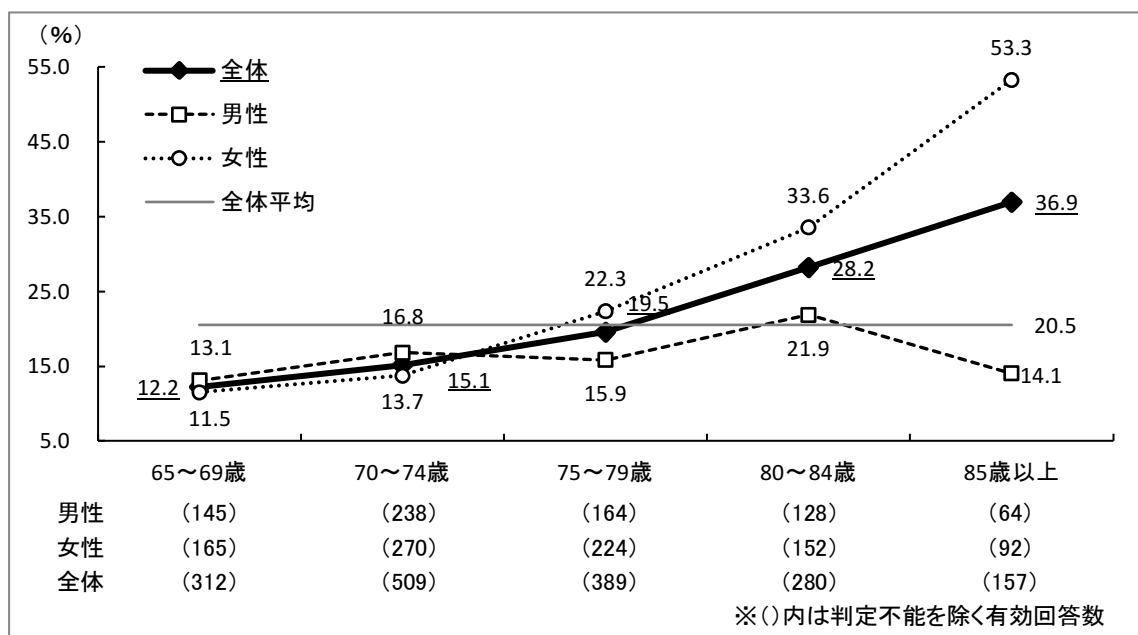
#### ■判定設問

設問内容	選択肢	
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない	2. 週1回
	3. 週2～4回	4. 週5回以上
判定方法	該当する選択肢(上の網掛け箇所)が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。	

#### ■判定結果



#### ■性別・年齢別判定（判定不能を除いた集計）



#### (4) 口腔機能の低下

以下の設問より、口腔機能の低下している高齢者を判定しました。全体では23.6%が口腔機能の低下している高齢者になります。

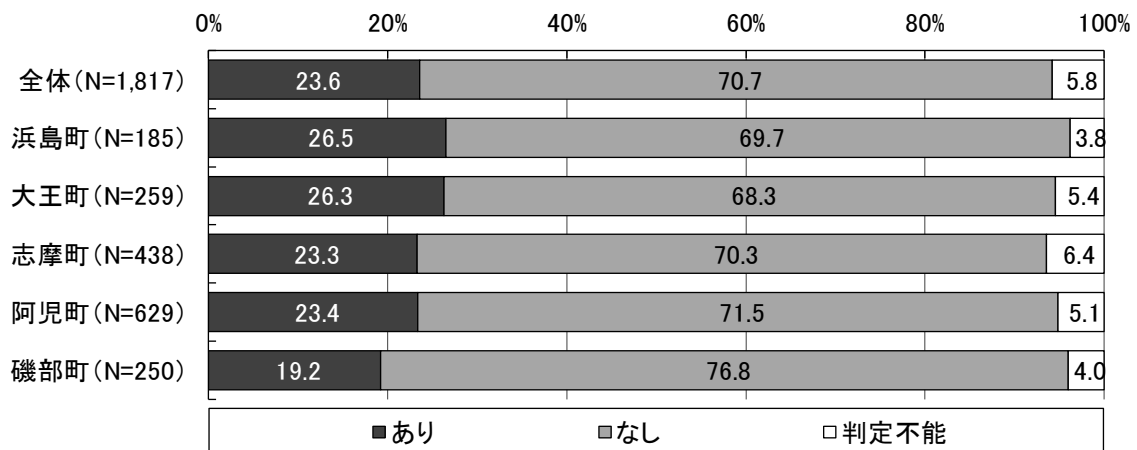
地域別では浜島町と大王町が同様の水準で並んでおり、磯部町がもっとも少なくなっています。

男女いずれにおいても「65～69歳」から「70～74歳」にかけて該当者が減少しています。80歳以上では、男性より女性の方がやや該当者が多い傾向になります。

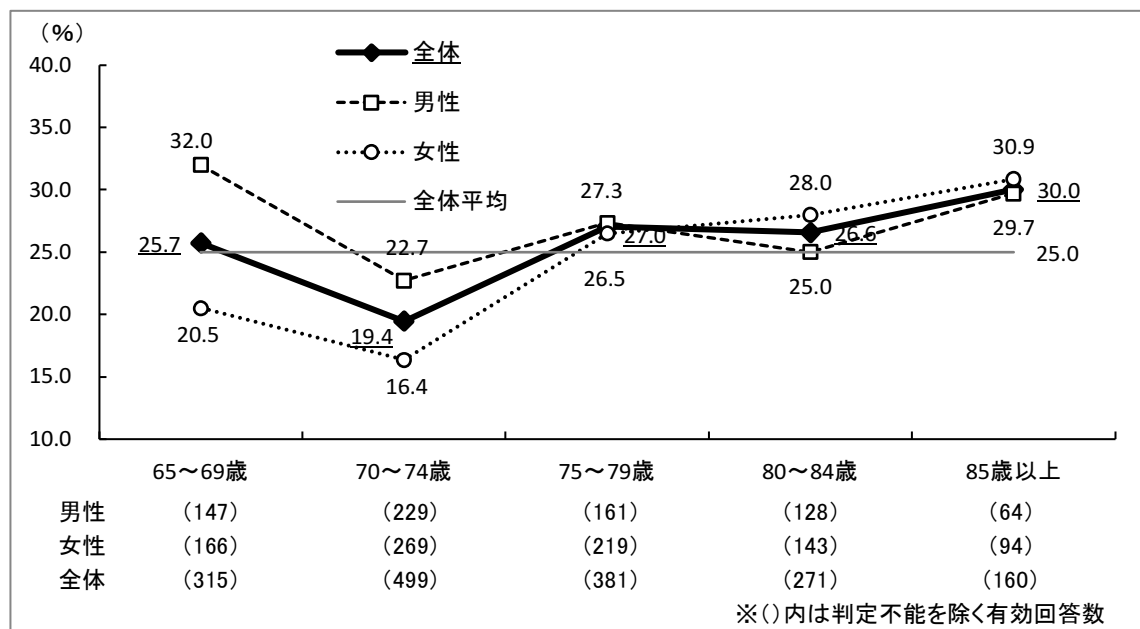
#### ■判定設問

設問内容	選択肢	
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ
判定方法	2問以上で該当する選択肢(上の網掛け箇所)が回答された場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。	

#### ■判定結果



#### ■性別・年齢別判定 (判定不能を除いた集計)



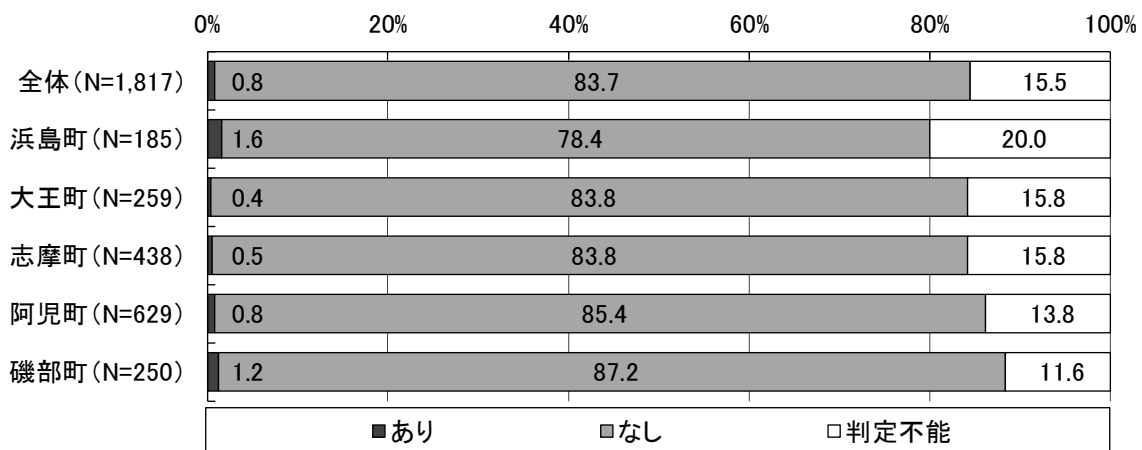
## (5) 低栄養状態

以下の設問より、低栄養状態が疑われる高齢者を判定しました。全体では0.8%が低栄養状態となっています。地域別の差や年齢・性別での明確な傾向はみられません。該当者は少なくなっていますが、きちんとした食事がとれていないとすると、状況としては深刻であり、適切な支援が求められます。

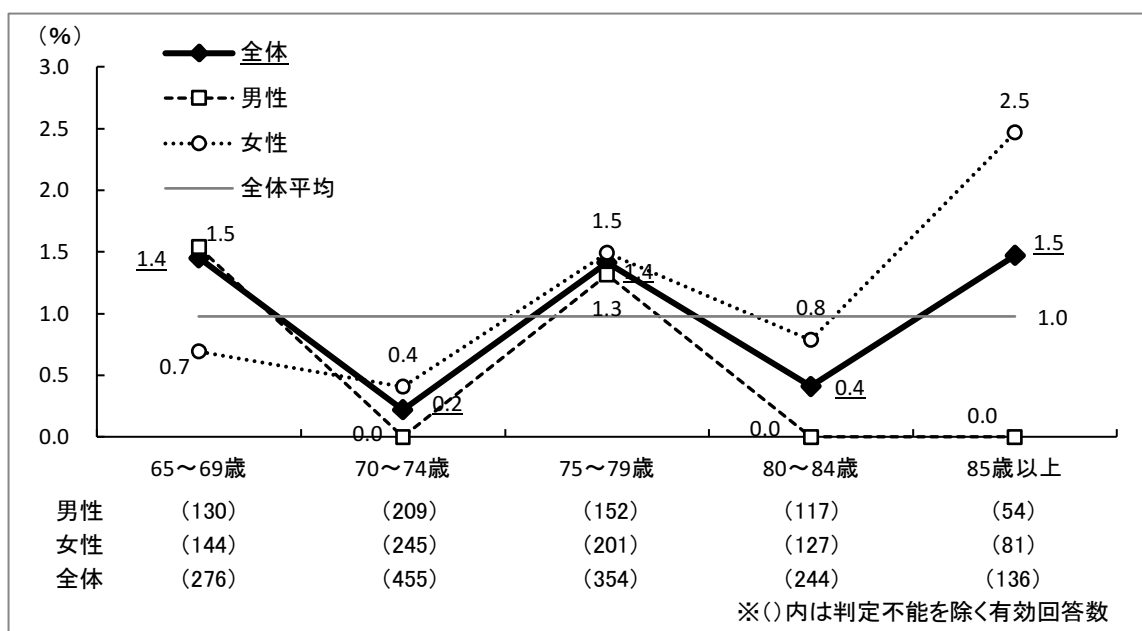
### ■判定設問

設問内容	選択肢
身長・体重から算出されたBMI指数	18.5 以下
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」と回答
判定方法	上記のいずれにも該当した場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定 (判定不能を除いた集計)





## (6) 認知機能の低下

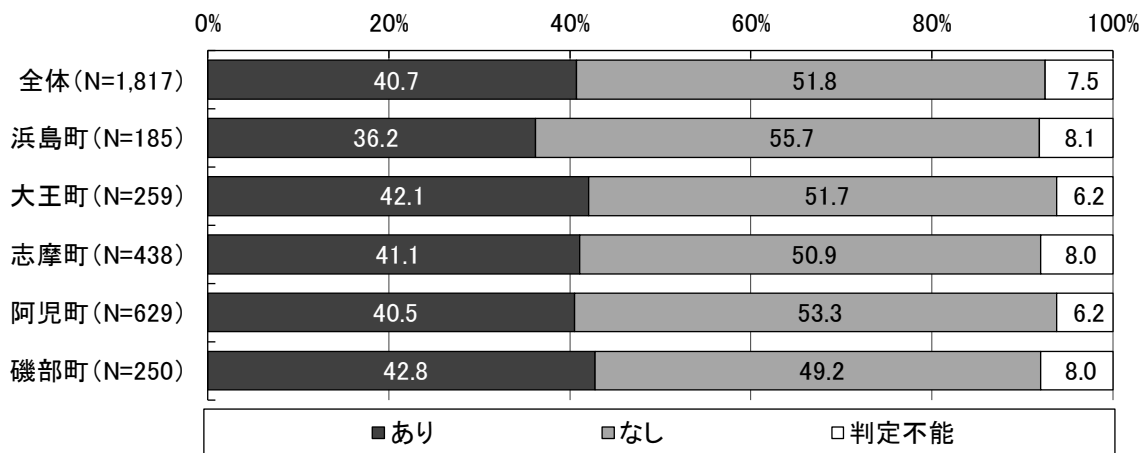
以下の設問より、認知機能の低下がみられる高齢者を判定しました。1つの設問のみによる判定であり、全体では40.7%と、該当者を広く取る設計になっています。

いずれの年代においても、女性の該当者が男性を上回っており、80歳以降は全体平均を上回っています。

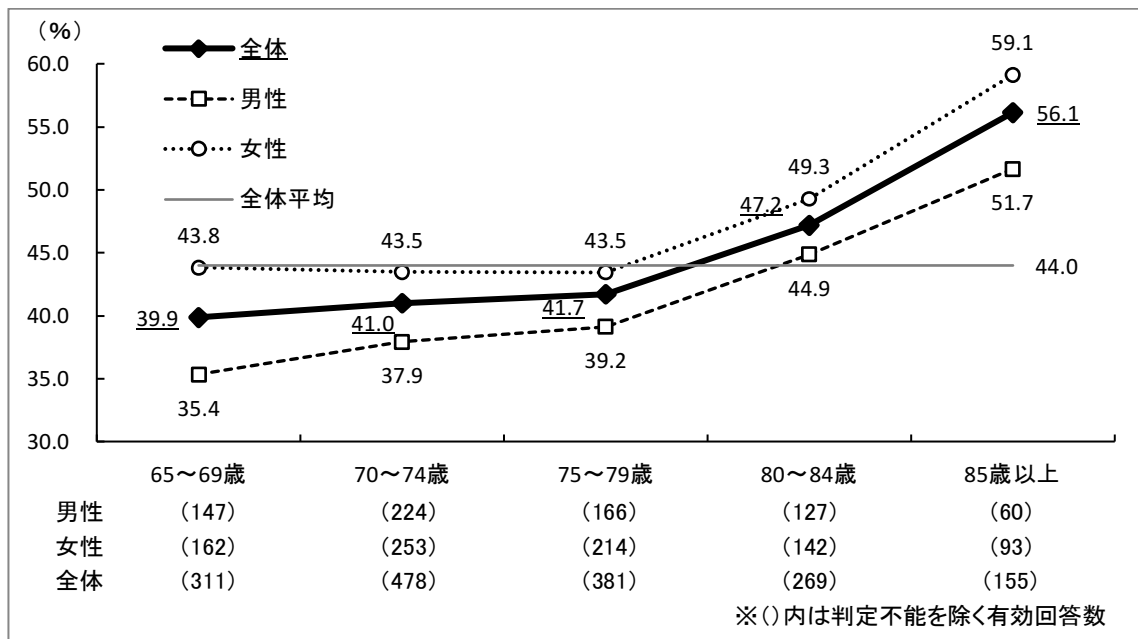
### ■判定設問

設問内容	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい                      2. いいえ
判定方法	上記の設問で「はい」と回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定（判定不能を除いた集計）



## (7) うつ傾向

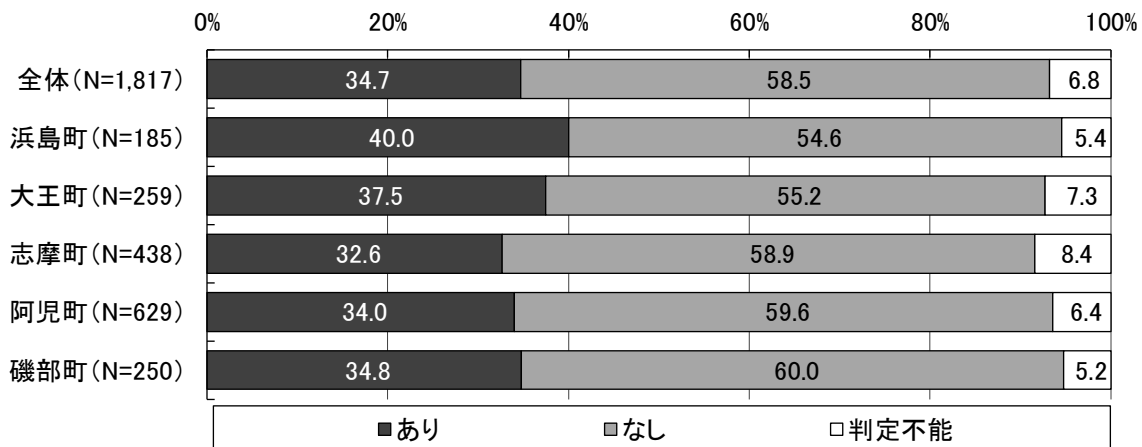
以下の設問より、うつ傾向にある高齢者を判定しました。全体では34.7%がうつ傾向のある高齢者になっています。

地域別では、浜島町がもっとも多く、志摩町がもっとも少なくなっています。年齢が上がると、緩やかに該当者が増加します。80～84歳にかけて減少していく傾向がうかがえます。

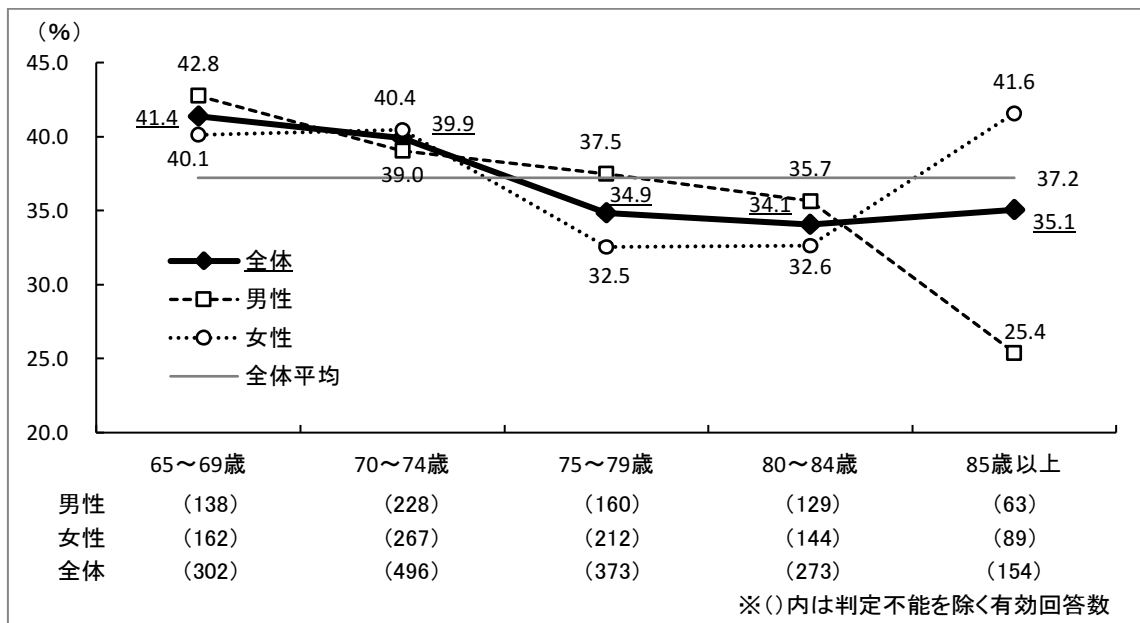
### ■判定設問

設問内容	選択肢	
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい	2. いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	2. いいえ
判定方法	上記の設問のいずれかで、該当する選択肢(上の網掛け箇所)が回答された場合は、うつ傾向のある高齢者になります。	

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定 (判定不能を除いた集計)



## (8) IADL

以下の設問より、自立した日常生活を送る上で必要な活動を行えるどうかを示す指標である IADL (Instrumental Activities of Daily Living: 手段的日常生活動作) の低下を判定しました。全体では 78.0%が、IADL の低下のない「高い」、7.7%が「やや低い」、4.2%が「低い」となっています。

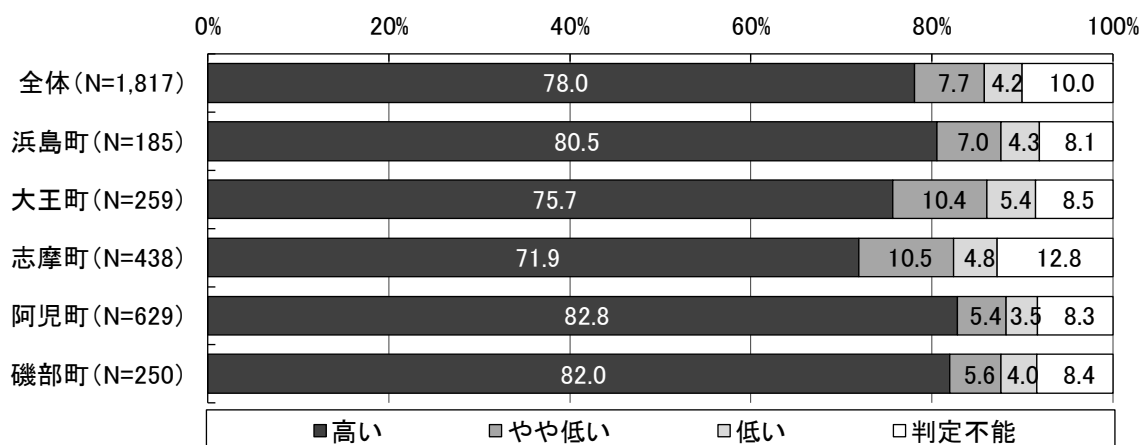
65 歳から 84 歳では、IADL の低下している割合は男性が女性を大きく上回っていますが、これは食事の用意を「できない」と回答しているのが、女性の 1.9%に対し、男性では 11.5%にのぼることが大きな要因となっています。買い物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れについても、男性では「できるけどしていない」という回答が女性を大きく上回っており、男性の実際の IADL は、調査結果で示されたものより全体的に低くなっている可能性もあります。

男性は、年齢が上がっても IADL の低下した高齢者の割合に、大きな変化はありませんが、女性は年齢が上がるほど IADL の低下した高齢者の割合が増加し、85 歳以上では男性を大きく上回っています。

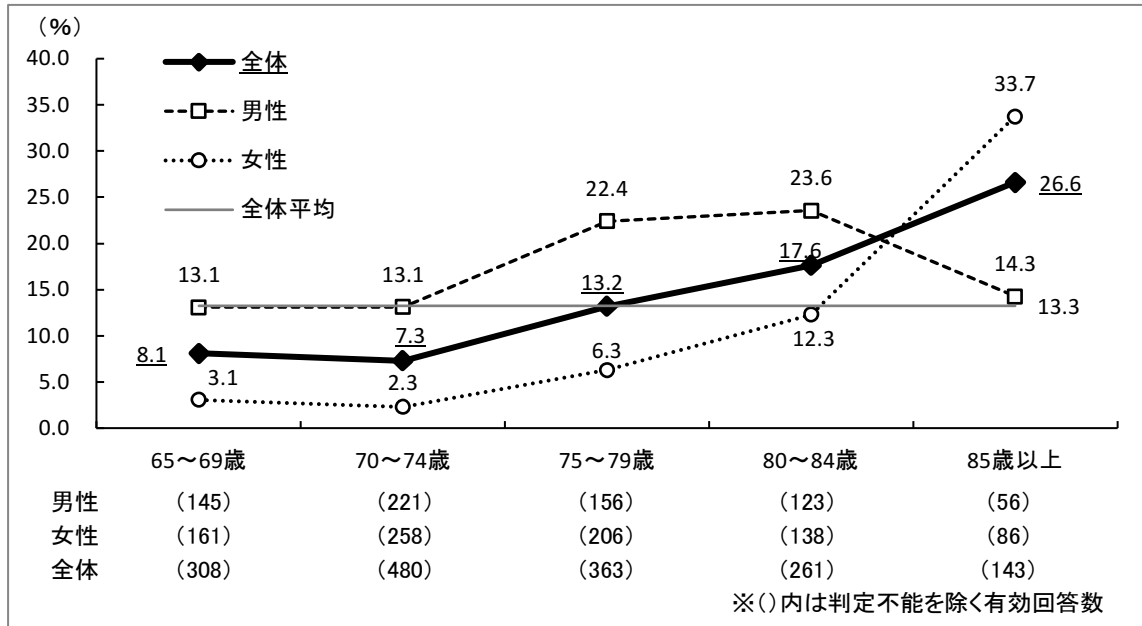
### ■判定設問

設問内容	選択肢	
バスや電車を使ってひとりで外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
自分で食品・日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 3. できない	2. できるけどしていない
判定方法	上記の設問で、該当する選択肢(上の表の網掛け箇所)が回答された場合は、1点と数えます。5問合計で、5点は IADL が「高い」、4点が「やや低い」、0～3点が「低い」と判定されます。	

### ■判定結果



■性別・年齢別判定（判定不能を除き「低い」と「やや低い」の合計を集計）



## (9) 知的能動性

以下の設問より、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を判定しました。全体では51.2%が、知的能動性が「高い」、22.6%が「やや低い」、17.7%が「低い」となっています。

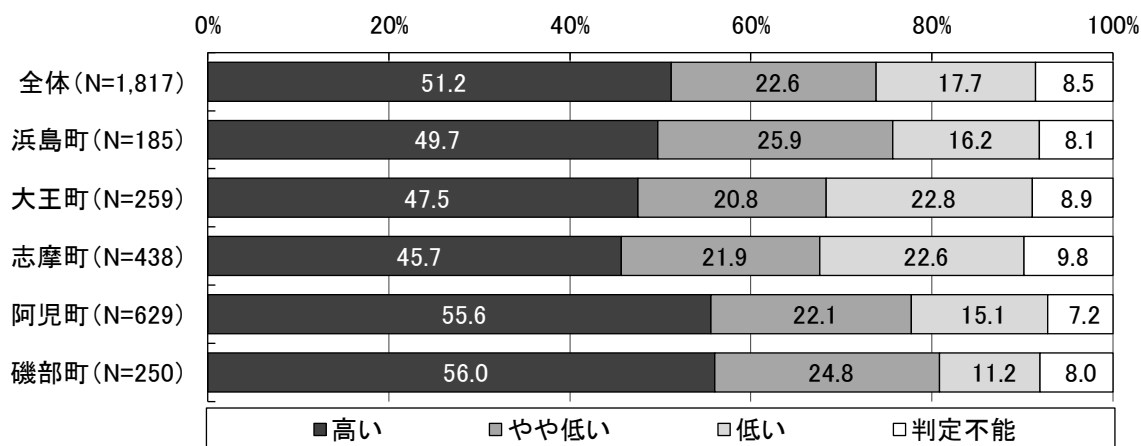
地域別では阿児町と磯部町が同様の水準で並んでおり、志摩町がもっとも少なくなっています。

65～79歳では男性の方が高くなっていますが、80歳以降については女性が上回っています。

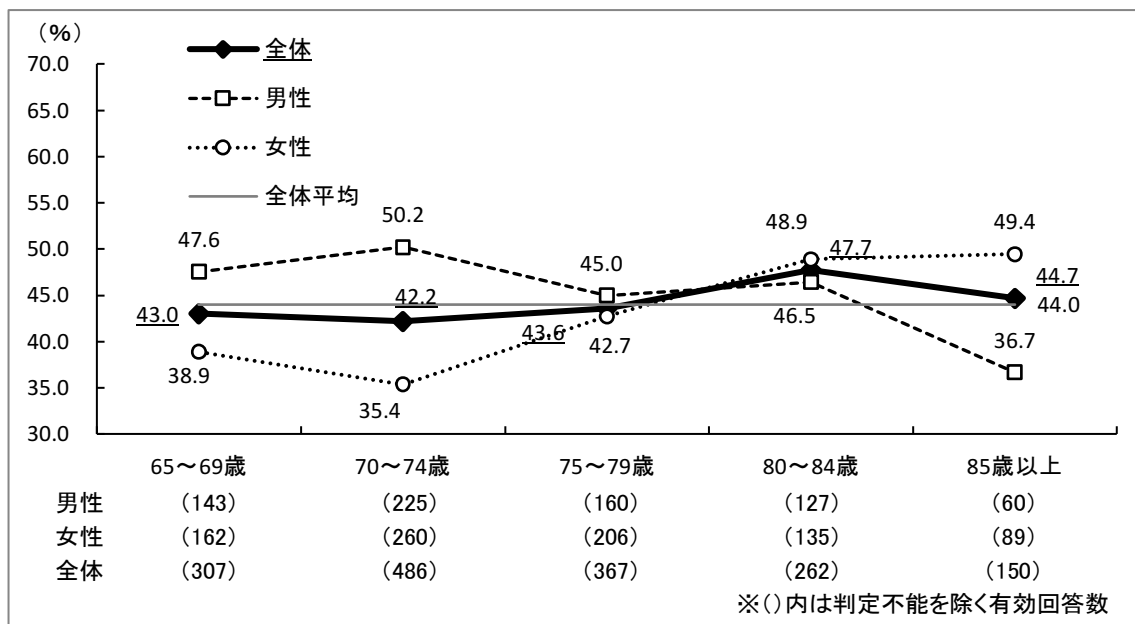
### ■判定設問

設問内容	選択肢
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 2. いいえ
新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ
判定方法	上記の設問で、該当する選択肢(上の表の網掛け箇所)が回答された場合は、1点と数えます。4問合計で、4点は知的能動性が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」と判定されます。

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定 (判定不能を除き「低い」と「やや低い」の合計を集計)



## (10) 社会的役割

以下の設問より、社会的役割（老研指標）について判定しました。全体では48.1%が、社会的役割が「高い」、21.5%が「やや低い」、21.9%が「低い」となっています。

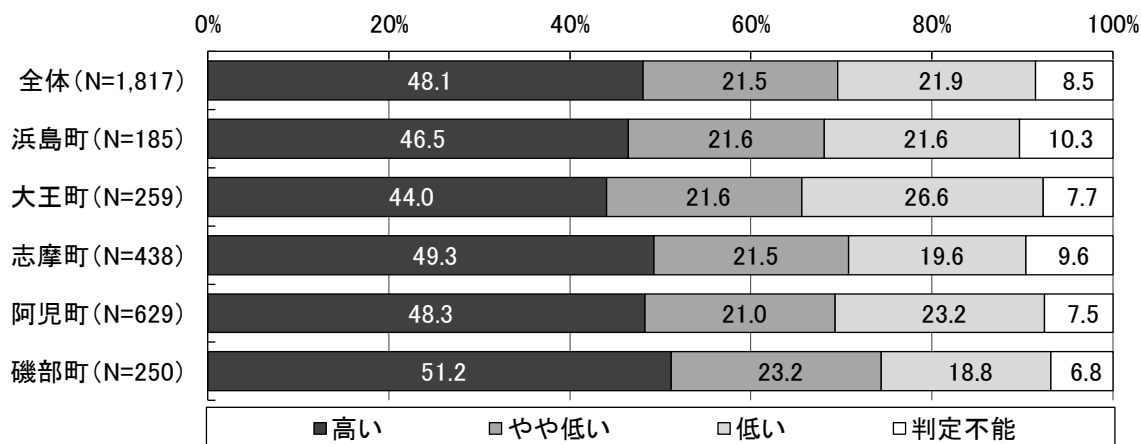
地域別では磯部町が高くなっており、大王町がもっとも少なくなっています。

84歳までは男性の方が高くなっていますが、85歳以降については女性が上回っています。

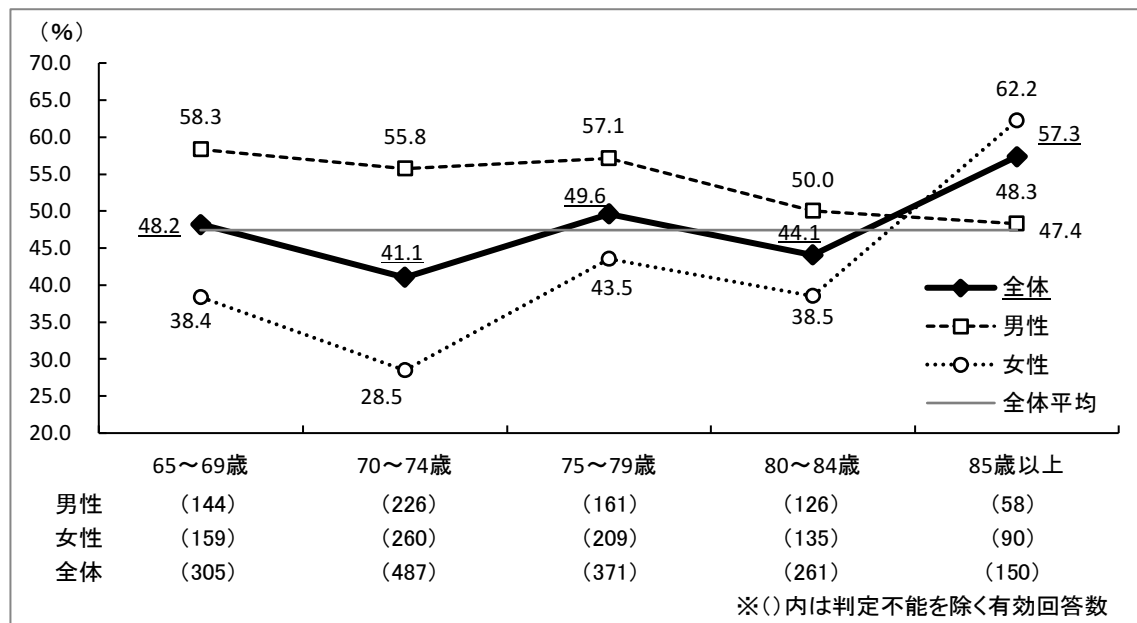
### ■判定設問

設問内容	選択肢
友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ
病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ
判定方法	上記の設問で、該当する選択肢(上の表の網掛け箇所)が回答された場合は、1点と数えます。4問合計で、4点は社会的役割が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」と判定されます。

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定（判定不能を除き「低い」と「やや低い」の合計を集計）



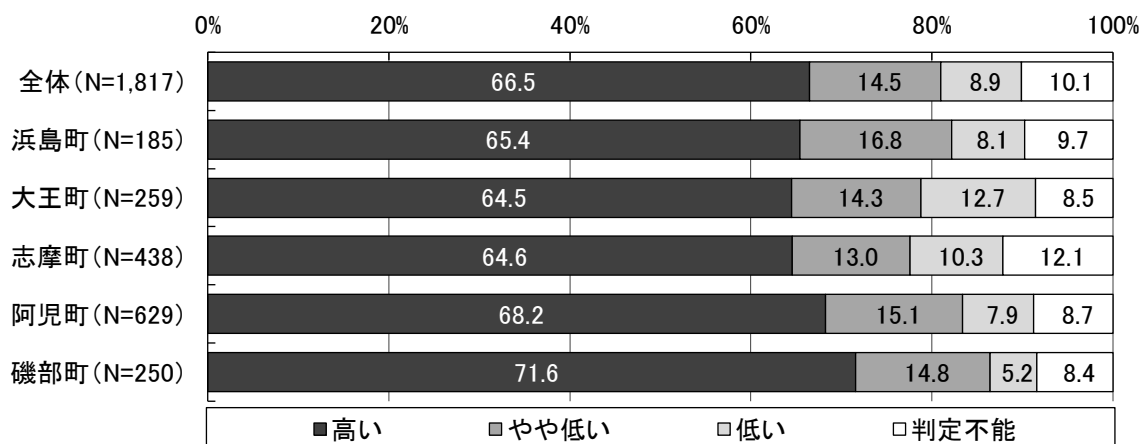
## (11) 老研指標総合評価

IADL、知的能動性、社会的役割の合計点である老研指標総合評価をみると、全体では「高い」が66.5%、「やや低い」が14.5%、「低い」が8.9%となっています。

地域別では磯部町が高くなっており、大王町、志摩町が同様の水準で少なくなっています。

84歳までは男性の方が高くなっていますが、85歳以降については女性が上回っています。

### ■判定結果



### ■性別・年齢別判定（判定不能を除き「低い」と「やや低い」の合計を集計）

